

幼の育教

號六第號月六卷八十二第



東東京子女高師範學校內
日本幼稚園協會

廣島高等師範學校教授

文學博士 久保良英先生新著

四六判全一冊洋綴
定價金貳圓 送料金十八錢

新刊

愛兒良毅の教養

本書の全文は悉く眞なる學者の兒童教養實驗記録で有

久保博士の令息良毅君は僅か九歳の年齒を享けて其餘りに短き生涯を終られた。……博士は本書自序の一節に「良毅は私の學位論文の中の言語の發達の資料を供給して呉れた」とある如く、君は其生前博士の兒童研究のよき伴侶でありよき對象であつた。博士は今其悼み、其悲み、其涙を新にして以て本書を著す。且又「彼の生立の全部を心理學的に記述して多少なりとも彼の此世に於る存在の意義を更に深め度い」と敬虔なる學者的願望を述べられて居る。言ふ迄もなく博士は實驗心理學殊に兒童心理の一大權威、この純情を以て綴られた本書の一字一句は兒童研究としての學的價値は言ふに及ばず、尙且貴重なる育兒の記録として總ての教育家及師父に裨益する所多しと信ず、御必讀を乞ふ。

文學博士 久保良英著

實驗心理學精義

好評赫々

三版 三版 三版
簡單なる行動篇
復雜なる行動篇

菊判全一冊紙張八百頁挿圖貳百
定價金六圓 送料金廿七錢
菊判全一冊紙張八百頁挿圖貳百
定價金六圓 送料金廿七錢

久保博士の實驗心理學精義は蓋し學界の至寶である。日本唯一の施設兒童研究所を創設し鋭意研究として鋭意研究して、實驗心理學の檢討に餘念なき著者は前篇簡單なる行動篇、後篇復雜なる行動篇を著しその編纂方法は質的及量的兩者交互に説叙し未決の問題は之れを未決の問題として始し、且つその結果相背馳せるものに對しては決して獨斷的私見を取らず、終始一貫純正なる學者的立場より世界の心理學者が開拓せし所、又はせんとする所に周到懇切に詳述せるものなるを以て書中最新學說の充滿せる事を俟たず、且つ本書述の最も特異とする所は其の研究發表が、唯單に學的的研究の標的たるに止めず實際的應用方面に多大の意を注ぎたる點で、學校教育家、軍隊、工場管理者等すべての集團の當事者に取つても必ず學的の指針として貴重なるものである。如上關係者の外文檢受願者の必讀すべき資料たり必讀を乞ふ。

發行所 東京市牛込區中館書店 電話 三三三番 八三三番 四二二番 七二二番 番

東京女子高等師範學校教授
同附屬高等女學校主事

倉橋惣三氏著

幼稚園雜誌

四六判特製美本函入
定價金貳圓五拾錢
送料金拾八錢
紙數五百二十餘頁

內田老鶴圃

振替東京一三三四五六番
電話浪花一三三三五番

東州市日本橋區大傳馬町二丁目

最新刊

教育の理論を説いた書は多い、方法を教へた書は更に多い。しかし教育の心を語つた書は少ない。とけわけて眞に幼児の生活に觸れた書は更に少ない。現代の日本が生んだ唯一の幼児教育の權威たる著者は、永くお茶の水の幼稚園の主事として令名噴々たる人、本書は著者が多年幼児の間に在つて體得した獨自の感想と考察とを述べて、幼児の生活を中心とした人間教育の眞意を味せしめんが爲めに、教育者と家庭の母とに贈つたものである。或は詩趣に充ちた感想文があり、教育の理想國を描いた創作があり、或は著者の溫馨容を彷彿せしむる講話があり紀行觀察錄がある。豊かなる興味と深き感銘と清き教訓とは、そのまゝ著者の心より讀者の胸へ流れ渡つて盡きないものがあらう……

◇ 本館内容目次◇

園丁雜感——我等の前途
さす自然の一致の日のしもべどもうるほ
ひまこと——親子の心腹味
正月の寒風——春が来る心
月野の春——春が来る心
が來た幼稚園の跡——夏や秋
の大災に幼兒教育の啓蒙——
森の幼稚園——森の先生
時季の會——森の先生
幼稚園の生活——幼稚園は如何なる處
ん幼稚園を終了する児童を如何に迎へて
か幼稚園の此頃——幼稚園は如何なる處
幼稚園を終了する児童を如何に迎へて
幼稚園を終了する児童を如何に迎へて

◇ 幼穉園保育要目 ◇

倉橋惣三先生序
日本幼稚園協會編
定價 參圓八拾錢
送料 拾八錢

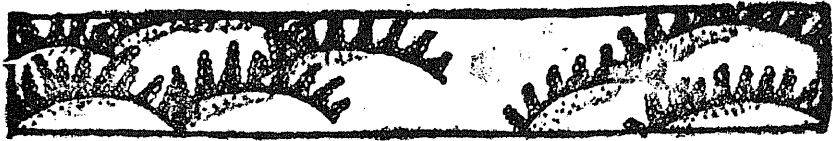
萬國幼稚園協會案
日本幼稚園協會譯
倉橋惣三先生序
定價 壹圓五拾錢
送料 拾八錢

四六判特製美本函入
定價金貳圓五拾錢
送料金拾八錢
紙數五百二十餘頁

東州市日本橋區大傳馬町二丁目

內田老鶴圃

振替東京一三三四五六番
電話浪花一三三三五番



本日幼稚園協會編輯幼兒教育

會長

東京女子高等師範學校校長

吉岡

郷甫

主幹

東京女子高等師範學校教授

堀

七藏

贊助員

東京高師教授

巖谷秀雄

東洋大學教授

高島平三郎

東京帝大醫科講師

乙竹岩造

東京府女子師範學校校長

龍山義亮

東京高師教授

太田孝之

瑞穂幼稚園長

土川五郎

慶應大學教授

大瀨甚太郎

帝國教育會理事

野口援太郎

早廣幼稚園長

唐澤光德

東京音樂學校校長

乘杉嘉壽

早廣幼稚園長

岸邊福雄

京都帝大教授

野上俊夫

東京高師教授

久留島武彦

東京女子高師教授

倉橋惣三

東京高師教授

佐々木秀一

東京帝大教授

松村武雄

東京女子高師教授

下田次郎

東京帝大教授

松本亦太郎

東京女子高師教授

菅原教造

奈良女子高師校長

榎山榮次

東京市教育局長

富士川游

奈良女高師附屬幼稚園主任

川正雄

藤井利譽

藤井利譽

東京帝大教授

湯原元一

藤五代策

藤五代策

東京帝大教授

吉田熊次

福士末之助

福士末之助

東京女子大學長

安井哲子

文博

谷本富

東京女子大學長

安井哲子

醫博

富士川游

奈良女高師附屬幼稚園主任

川正雄

文博

下田次郎

東京帝大教授

松本亦太郎

文博

菅原教造

奈良女子高師校長

榎山榮次

文博

藤井利譽

東京帝大教授

湯原元一

文博

福士末之助

東京女子大學長

安井哲子





號六第 育教の兒幼 卷八十二第

口繪 砂箱、大積木

日本幼稚園協會總會豫告

私の視察した歐米の幼稚園教育

七月の幼兒生活

簡單な運動の遊戯化

劇よりもお話

幼兒の手技について

朝の一時間

此の頃の實話

遊びの二三

童話 墓蛙の自慢

桐の花

遊戯 田植

ちい坊

東京市保育會總會

堀 七藏……………一頁

ト部 ため……………二〇頁

三浦 ひろ……………三一頁

長尾 豊……………三七頁

久門 嘉祐……………四一頁

むらさき……………四四頁

つばな……………四七頁

及川 ふみ……………五〇頁

水谷 年惠……………五三頁

さおり……………五五頁

土川 五郎……………五六頁

水島 さゆり……………六〇頁

……………六六頁

愈々出たサウトハチ口抒情詩集

抒情詩集



いとしき泣きぼくろ

サトウ・ハチロー著 吉部二郎装幀

四六判上質紙二百十餘頁朱子製本天金極美装 最新刊

定價 壹圓六十錢 送料 十二錢

私は、ほんとにやさしい喜びを持つて皆さんにこの詩集を捧げます。爪色の雨以後の多くの少女雑誌、婦人雑誌へ發表したものは、みなこの本のなかにあります。その他折にふれ私のやさしい心をうつものがあつたとき書きとめて置いた短唱もすべて入れてあります。

いとしき人に

いとしき泣きぼくろありき

まつ毛をつたふみぞれに

いつも黒くぬれそぼちたりき

私は、この本が一冊でも多く買れて、この本を讀んだ人の心のやさしさを育て、くれれば幸ひです。心やさしき人に私は「いとしきなきぼくろ」を捧ぐ。美き人にはこの詩集を捧げます。

少女讀物白眉

世界名詩物語

サトウ・ハチロー譯 非水装幀

エクトル・マロー原著 非水装幀
あ、故郷

四六判二百數十頁極美装
定價壹圓六十錢 送料十二錢

四六判二百數十頁極美装
定價壹圓六十錢 送料十二錢

文洋社

東京市牛込區
西五軒三丁目

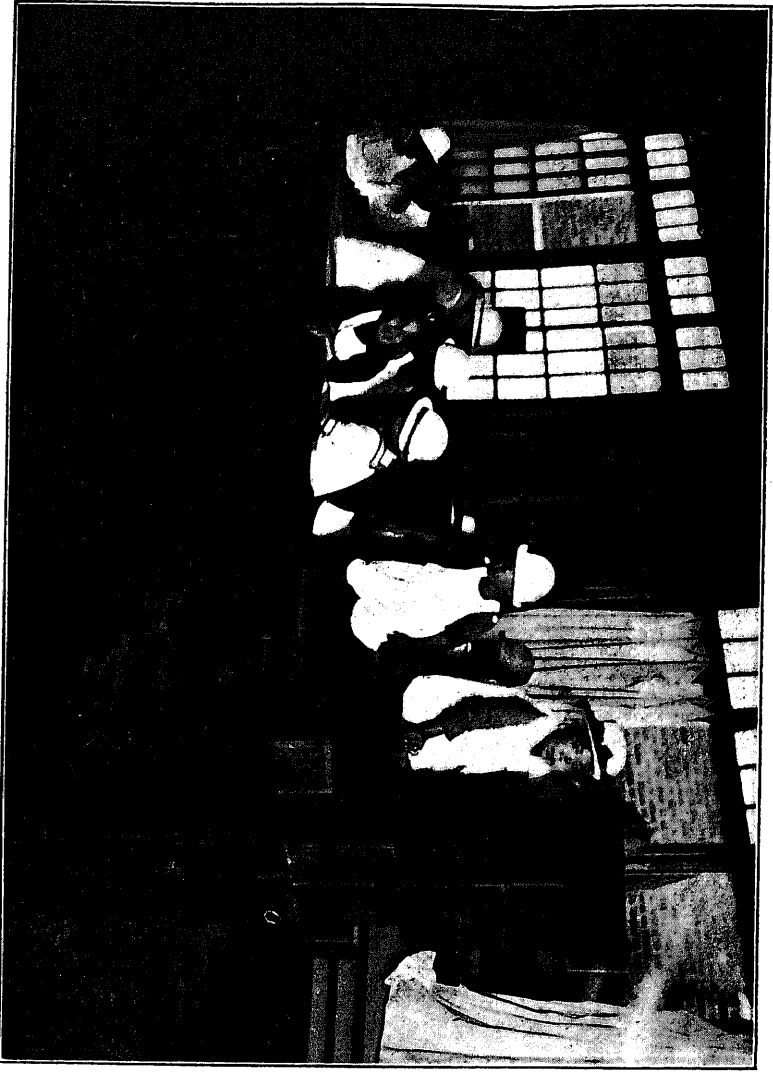
振替東京一〇五九四番
電話牛込四三〇番



東京女子師範附屬幼稚園

箱

抄



東京女子師範附屬幼稚園

大 積 木



號六第 育教の兒幼 卷八十二第

月六年三和昭

- 一、教育で家庭教育位重要なものではありません。家庭教育の良否は實に人一生を支配し國家の發展を左右するのであります。最近の學術は益々家庭教育の重大なる使命を立證し近時の社會現象は善良なる家庭教育の必要を痛感せしめてゐます。
- 一、家庭教育の短を補ひ幼兒の心身を充分に發達せしめ將來受くべき學校教育の基礎を築くものは幼稚園教育であります。幼稚園教育の重視すべきことは天下一人も異議がないのであります。
- 一、幼兒の教育は本邦唯一の幼稚園教育に關する發表機關であります。而してまた本邦唯一の家庭教育雜誌であります。
- 一、幼兒の教育は幼兒の教育、即ち家庭に於ける教育と幼稚園に於ける教育、更に小學校初學年教育に關する事項は細大となく網羅し、以て家庭教育の向上を計り、幼稚園教育の進歩發展を期する大抱負をもつて産れたもので有ります。

日本幼稚園協會總會豫告

一、期日、場所

來る七月廿七日廿八日の兩日午後一時より日本幼稚園協會の總會を東京女子高等師範學校に於て開催いたします。

二、順序

第一日 會務報告、研究發表

第二日 研究發表、懇談會（茶菓並に餘興）

三、會費

一人金五拾錢

四、加入申込その他

1. 總會に出席加入御希望の方は来る七月廿日までに御申込下さい。七月廿六日より文部省主催幼稚園に關する講習が東京女子高等師範學校に於て開催せられる筈であります、多少混雜する虞もありますから豫め總會加入を御申込下さる方が便宜であります。

2. この總會に於て幼稚園教育に關する研究の發表を歓迎いたします。御希望の方は研究題目並に發表に要する時間等を附し七月廿日までに御申込下さるやう願ひます。

3. 會費は總會御出席の際御拂込下さい。

4. 餘興には落語、童謡等を行ふ豫定で目下それ／＼交渉中であります。

5. 御申込は東京女子高等師範學校附屬幼稚園内日本幼稚園協會事務所宛に願ひます。

昭和三年五月廿五日

私の視察した歐米の幼稚園教育

(北 歐 旅 行)

堀 七 藏

九月十二日に獨逸ハンブルグを出發してスウェーデンノルウエー、デンマークと旅行したのでありますからその間に見聞した幼稚園教育の斷片を紹介いたします。

スカンデナヴィヤ半島はヨーロッパでも著しく北方であります。ストックホルムが北緯五十九度二十分オスロが北緯五十九度五十分であります。また丁抹のヨツペンハーゲンが北緯五十五度四十一分であります。従つて氣溫は我が國などと著しい相異があることを念頭に置いて萬事を考へねばなりません。誠に東京と比較して平均氣溫を素示すると左の如くであります。

月	東 京	ストックホルム	オスロ	ヨツペンハーゲン
一月	三、〇	零下 三、〇	零下 四、四	〇、四
二月	三、七	" 三、五	" 四、五	〇、二

三月	六、九	零下 一、七	零下 一、四	一、九
四月	一二、七	" 三、二	四、四	五、七
五月	一六、五	八、四	一〇、五	一〇、七
六月	二〇、五	一四、一	一五、五	一四、八
七月	二四、一	一六、六	一七、〇	一六、七
八月	二五、五	一五、三	一五、九	一五、八
九月	二一、九	一一、五	一一、五	一二、八
十月	一五、九	六、二	五、五	八、九
十一月	一〇、五	一、五	〇、一	四、九
十二月	五、三	零下 二、〇	零下 三、六	二、二
全年	一三、九	五、六	五、五	七、九

右の表を注意して御覽になると我が國には春夏秋冬の四季がありますが、北歐では春と冬としかありません。一、二、三、四と一〇、一一、一二とが冬で、僅かに五、六、七、八、九が我が國の春であります。更に御参考までに降水量を表解いたしませう。

月

東京

ストックホルム

オスロ

コッペンハーゲン

一月	五五	二〇	三一	三五
二月	七三	一八	二四	三三
三月	一〇八	二〇	二七	三七
四月	一三三	二三	二八	三五
五月	一五五	三五	四二	三九
六月	一六四	四二	五二	五〇
七月	一三八	五八	八五	六〇
八月	一六六	六二	七三	六六
九月	二三五	四六	七六	五二
十月	一九五	五〇	六五	五七
十一月	一〇〇	三五	四八	四八
十二月	五三	二八	三二	四四
全年	一五七四	四三七	五八三	五六〇

この表を見ると瑞典諾威でも丁抹でも我が國の降水量の約三分の一であることが分りませう。そして降水量の最大な時でも東京の降水量の最小な十二月一月位であることが注目すべきことであります。で

も瑞典・諾威・丁抹三國の比較ではストックホルムはバルチック海に臨み降水量が最も少いが、オスロはメキシコ暖流の影響を受ける程あつて稍々降水量が多いのであります。兎に角北歐の三ヶ國は寒氣も強く、降水量が少いだけ乾燥してゐますから、冬は甚だ寒いのであります。私が丁度旅行した九月中旬、東京ならば残暑きびしくなどと書く位な頃に冬服に冬の外套を着込んでそれで寒い位、或る朝などは道路にまいた水がひどく凍結してゐる位であります。かく寒氣が強くと直射日光が弱いから北歐人種は一般に頭髮も金色、皮膚も白色、毛細管が皮膚の表面に現はれてゐるから血色がよい。身長は偉大であるといつた有様で、同じ白色人種とはいへラテン人種とは比較にならぬ位であります。寒い爲めでもありませんが運動は非常に盛であります。男女老若を問はず各自の健康増進のため盛に運動をするので勝敗などは目的外であります。競技に勝つことが目的となる運動ではなく、保健のための運動、健康増進の爲に行ふ競技であります。幼稚園小學時代から天氣のときは出来るだけ外で遊ぶことが嚴守せられてゐます。アドルフフレドリック國民學校參觀の時も天氣であつたので實に立派な屋内體操場が二室も三室もあるがそれを使用せず校庭でボールの運動をしてゐるし、高等工業學校と併置になつてゐる國民學校でも校庭で運動しストックホルム郊外の立派な國民學校參觀の時も外に運動をしてゐたのであります。またリンネの銅像がある公園でも多くの子供等が弱い日光ではあるが日當りのよい所で砂遊びを盛にやつてゐる。その砂場が面白い。丸い天然石を無雜作に並べて圍をなし、その中に花崗岩の砂を盛つて砂場と

なしてゐる有様は如何に教育的かと實に美しくなる位であります。

二、

ストツクホルムのアドルフフレドリツク國民學校は、實に堂々たる小學校で體操室、手工室等の設備は誠に申分がない位であります。この學校で特に注目すべきことは醫務室であります。完全なる設備があつて幼少な生徒が齒の治療を受けてゐるのは羨しい位であります。齒は一生の消化を司るもの、この良否は如何に人の一生に重大なる關係を有するかを考へるときはこれが手當は等閑に附することが出来ないであります。齒の問題は大人よりも子供、乳齒の時代が特に注意をせねばならぬ。乳齒が永久齒に生代る小學校低學年が甚だ大切な時であります。これにめぐめて低學年兒童の齒の治療をしてゐることは幼稚園にまで押及すべきものであります。疾病の治療は家庭の仕事と放任することは出来ません。治療を受くるに便宜なる時間は凡て學校生活に費すのであるから學校に於て必要なる手當や治療を施すのが至極當然であります。學校醫は單に一年一回の體格検査をなすものとなすが如きことは甚だ不充分で少くとも一週一回幼兒兒童などの簡単な検査をなし相當の手當や治療をなすべきものであります。それで少くとも學校看護婦がゐて簡単な手當をなし應急の處置をすることが肝要であります。この點に於て日本の小學校でも幼稚園でも身體の發育に留意するとは申せ、餘りに兒童幼兒の身體について無頓着であると思はれます。積極的に運動遊技を盛にし身體發育の促進をなすこと至極肝要であります。

た消極的な衛生方面に留意し發育の障害をなすものを除去することに努力せねばなりません。眼でも耳でも又鼻喉でも幼兒兒童の時代に深い注意を拂つて適當な處理をすることが肝要であります。學校幼稚園は病院でないから立派な治療室を必要としないが、それでも健康兒を一應診斷し簡單な手當をなすだけの設備をなし學校醫がもつと兒童幼兒の身體について検査をなし學校看護婦が適當な處理をなすやうな施設が甚だ肝要であります。

ストツクホルムのスタデイオン、オリンピッククゲームなどの行はれる大運動場の附近にある高等工業學校と併置になつてゐる國民學校には幼稚園もあれば露天學校もあります。幼稚園には左程特色もないが、露天學校は中々面白いものであります。天井裏に凡て窓を開放した室があり、そこで病弱兒童が露天で寝る臺もあれば寢具もあります。兒童は二組ありますがこんな病弱兒童で露天學校の教育を受けてゐるものが、ストツクホルムに四組、生徒は八十人あります。人口四十萬のストツクホルム全体で八十人の病弱兒童を集めて特殊教育を施してゐる譯であります。この生徒は凡てこの露天學校で起居するので割烹室もあり學習する教室もあります。年齢もいろいろで大きな女兒は食事割烹の實習をなし男兒は學科を殆ど個別的に學習してゐます。

ブラウンキルカ通にある實に立派な國民學校にも露天學校があります。屋上庭園となる所を利用して露天學校をつくりそこを運動場となし露天生活を營ませてゐるものであります。北緯六十度に近いから

日射量が少いので出来るだけ日光浴をさせ、空氣浴を行はれる工夫であります。我國などでは到底その儘の眞似を許さないことは勿論であります。學校幼稚園といへば必ず机腰掛で室内の學習作業にのみ没頭するものと考へることは余程考慮せねばならぬ。學校教育を受ける年限が長いもの程、身體薄弱となり近視眼が増加し呼吸氣病者を増すが如き傾向は蓋し幼稚園小學校時代より十分考慮せねばならぬ問題でありませう。

三、

ストックホルムからスカンヂナビヤを横断してオスロに出たのでありますが、汽車の旅。スカンヂナビヤの風景についての所感があります。割愛してオスロの學校の概要を述べませう。オスロの中學校を二校參觀して面白いことがあります。茲ではサゲニス小學校の模様を説明いたします。この小學校は最新の實に堂々たる大建築。北緯六十度、人口僅かに二十萬に足らぬオスロにかくも立派な學校があるかと驚嘆せざるを得ないのであります。校長は女史、愛嬌よく歓迎して案内して呉れます。生憎時間の都合が悪く、低學年生徒は歸宅する所で實際の授業は最上級しか視ることが出来なかつたのであります。普通教室の教卓は五寸位の高さの廣場にある、特別な教壇といふ程でもないが一段高くなつて居るから生徒に事物を揭示するに事かゝぬやうになつてゐます。入口の壁と後方の壁とが直に黑板となつて教師や生徒が使用することになつてゐます。兒童が自由に發表練習をなすことが出来る工夫でありませう。

一体幼兒兒童には發表欲の強烈なる時代があります。これを適當に指導し自由に發表させることをせねば樂書などを平氣で行ふのであります。樂書をさせることは無論禁止すべきではありませんが、保育室などでは自由に發表し得るやう壁黑板を豊富に設備することは至極肝要であります。

この學校の廊下には所々に澤山の鉢植があつて、生徒が觀察し世話するに便宜になつてゐます。標本も廊下に陳列してあるから、自由に觀察出來ます。一年に一度遙拜させる標本を教具室にしまひ込んで置くのとは大に異なる結果を生ずるのであります。朝となく晝となく屢々見てゐると兎角注意を拂はなくなるから効果が左程ないといふのも一面の眞理でありますが、一度一寸視るだけよりも日常不知不識の間に認識する結果は遙かに重大有効なものであるのであります。幼稚園の觀察に於ても幼兒の眼に觸るものが悉く觀察の材料となるやう絶へず觀察せしむる工夫が甚だ肝要であります。所謂環境による教育が甚だ偉大なるものがあるので環境の整理は教育上忘却することが出來ない重要事であります。このオソロの學校は裁縫室でも手工室でも地理室でも理科室でもその設備がそれぞれ完備してゐるのは勿論であり、環境の教育に非常な苦心をしてゐます。幼兒のゐる室の壁は子供らしき畫を以て裝飾し、理科室は入口よりニウトンの林檎の圖を標示して觀察推理の氣分を十分喚起するに努めてゐるといふ有様であります。是等は鐵筋コンクリート建築が如何にも牢獄の如き氣分を防止するだけにでも至極肝要でありませう。

この小學校は二百萬クローネ以上もかけた最新の學校、地下室にはバス及びスウイミングバスもあります。その入口に個人用の着物ぬぎ場があり、手、足、頭等を洗ふ所があつてシャワーもあります。またスウイミングバスは實に奇麗に出来てゐて交替に時間を定めて水浴をさせるのであります。元來西洋人は入浴することが甚だ稀であります。月に一回も入浴するかしないか位でありますから兒童の身體は甚だよれてゐるのでありますから學校で一週一回づゝ入浴させる工夫がどこの新しい學校も存置して實行してゐるのであります。我が國の如く家庭で風呂をもつてゐるとか、錢湯があれば歸宅後兒童は入浴出来ませんが歐米の家庭生活ではそれが出来ません。爲めに學校の正課時間中に交替入浴して身體の清潔を保たせる工夫がハスまたはプールの施設であります。我が國では中學校高等女學校や小學校にバスの必要がなくとも幼稚園には是非必要であります。砂遊びやいろ／＼の遊びで身體がよけれ、時には行水を使はせる必要が屢々起る位でありますから幼稚園では簡單に幼兒の身體を清潔にする入浴設備が是非必要でありませう。

尙ほこのオスロの小學校に一つ大いに説明せねばならぬものがあります。それは學校園であります。校舎内に鉢物が非常に多いのは全く生徒の世話や手入によるのでありますが、校庭に廣い學校園があります。舊校舎の周圍に廣い面積を持つた學校園があつて生徒各自に實驗實習させてゐる跡が十分に見えます。教師や園丁の勞力で体裁よく出来てゐるのではなく、生徒の勤勞生徒各自の作業によつて栽培せ

られるのであります。勿論生徒の實習では栽培の結果はよくありません。しかしいろいろに實驗し研究する所に大なる價值があります。花壇は眺めるもの、いちづるべからずといふ經營方針は幼稚園でも小學校でも甚だ面白くない。幼兒が砂遊びから植物栽培、寧ろ植物をいろいろにいちづくり栽培する經過に價值があるのでありますから幼稚園でも幼兒のいちづる學校園花壇が是非欲しいと思ふのであります。このオスロの小學校、女學校長はヨーロッパの學校には普通學校園がないのであるが、自分の學校には特に學校園をつくり兒童が土に親しみ自然物の栽培の飼育に對する興味を涵養することに努めてゐる。栽培したものがよくなるもならぬともそれは問題外であると主張してゐたのであります。我が國では單にながめる花壇、實驗出來ぬ庭園が家庭にもあるから幼稚園では自由に作業しいちづくり實驗することが出来る學校園を工夫することが肝要であります。

四、

丁抹は大小の島嶼が五六も相集つて一體の低地をなし平坦な農業國であります。面積は僅かに四萬三千平方軒で我が本州位。人口は三百二十七萬。面積の八割は畑又は牧場で畑には主として麥と馬鈴薯とが栽培せられ、牧場には牛馬豚が多く飼育せられてゐます。この丁抹の高等農民學校などが比較的に我が國に紹介せられてゐますが一般に教育の進歩した國であります。大學は丁抹の首府コツペンハーゲンに一校、現在學生が三千九百人。ザット人口一千人に對して大學教育を受けるものが一人であります。

而して女子の大學教育を受けてゐるものが六百七十人であります。丁抹の文部大臣は女子であることも面白いし、女子の校長や視學も少くないのであります。丁抹の中學校に面白いものがあります、がそれは割愛して小學校の一代表としてニイボダー小學校を參觀した感想を大要説明させう。この學校はコツペンハーゲン第一の小學校で最近八年前に建てられたものであります。前にニイボダーの長屋があります。クリスチャン四世が海軍兵の爲に建てた特殊な長屋で、一階の低い建物が行儀よく並んでゐます。こゝに少くとも三千五百人住んでゐるといふので面白いものです。またニイボダー學校の後は鐵道線路を隔ててエストレー公園になつてゐます。兎に角ニイボダー小學校は實に立派な建物で男女に分れてゐます。物理博物の特別教室があつて男女共用に使用するやうになつてゐるのも面白い。裁縫教室と家事教室も完備してゐます。所謂女中大學が冬季行はれるに至極適切な設備になつてゐます。體操場もよく出来てゐるし浴室もあります。しかしスウイミングバスはありません。これはコツペンハーゲンでは到る所夏海水浴が出来る。實に完全で危険のない大きな海水浴のプールが出来てゐるからニイボダー學校では單に生徒の身體を清潔にするためのバスしかないのであります。尙ほこの學校には冬季貧民の兒童に食物を給與する室が大きく完全に出来てゐます。

コツペンハーゲンには立派な公園が多く、その公園には必ず子供の公園があり砂場があつて幼兒の遊ぶのに適當に出来てゐます。元來が農業國でしかも北歐の農業でありますから土地の生産力は貧弱であ

り貧民が多いのであります。道路や公園は税金を多くとつて之に充當し經營してゐるしホテルには必ず税金が10%も課せられますから吾々が一伯しても税金を支拂ふことになる譯であります。それでも尙ほ浮浪者が多いのでコッペンハーゲンには浮浪者を收容し授産する所があります。市中にさまよつてゐる浮浪者を巡査が捕縛して來ると留置する部屋がありますが全くの監獄であります。獨り獄舎にゐて繩をほごす作業を課せられてゐる恐るべき男も少くありません。暫く留置して善良なるものには職業を授けます。先づ薪割りの如き仕事から甘藍馬鈴薯等の栽培を行はしむるもの、また養豚事業を行はしむるものもあります。廣い畑に無数の豚檻があります。數千頭の豚が飼育せられ、それ等の手入や世話をする仕事を行はせるのであります。また靴工となるもの織物職工となるもの等完全に整備せる工場があつてそれ／＼監督者の指揮を受けて働く様は全く不良者とも見受けられぬのであります。こゝで授産せられ善良な性情を有するものは更に市内の工場に分配せられて働くのでありますがこのズンドホルムの柵外に貧民の幼兒を收容する托兒所があります。不潔な服裝の幼兒が百人位三組になつて居ります。園舎は長屋の一隅にあり完全なものではありませんがしかし托兒所としては實に立派なものであります。單に小兒を預つてゐるばかりではなく普通の幼稚園の如く完全な保育を行ふことに努力してゐます。従つて保母も中々立派な獻身的な人達のやうに見受けました。只母親の手から子供を預つて子供の保育にあまり注意を拂はぬ我が國の托兒所とは大に異なるやうに思ひます。幼稚園は小學校の如くなり、托兒所は單

なる共同子守が一人か二人あるといった我が國の幼稚園も托兒所も共に健全な保育事業を担当するものでないやうに思はれます。

五、

丁抹國に於ける幼兒保護事業の概要を述べる。子供のホーム、監禁ホーム、母のホーム等があつて幼兒を晝夜保護し保育してゐる。また幼兒の晝間ホーム、幼稚學校、幼兒の作業所、キンダーガーデン等では母親が働いてゐる晝間だけ幼兒の保護をなし保育をなすのであります。また貧困なる親子の救濟をなす事業では幼兒に衣食を給與したり生活の資料を適當な方法で給與する組織もよく發達してゐます。殊に母乳哺育は重要なを以て成るべく母乳を嬰兒に與へるために母のホーム、母乳給與所などを設けてゐるのであります。而して母のホームは丁抹國に十三ヶ所百八十七人の母親三百七十五人の嬰兒を收容する設備が出来てゐると申します。殊に一九二三年六月一日開かれたるヘレナ王妃の創設にかゝるマザーホーム、「デンマーク」は模範的のもので一二人の保育する母と二歳以下の嬰兒四十八人を收容し保母の養成をも實施してゐるのであります。殊に面白いのは母乳給與所では乳母が毎週又は隔週にその嬰兒と共に出頭するものであります。このとき嬰兒の體重を測り檢診して研究の材料となし母親には嬰兒の保育法につき十分なる指導をなし、毎日立の牛乳を供給するのであります。尤もこの牛乳は嬰兒に與へるのではなく母乳を増加するため母親がのむのであります。また兒に適する衣服も供給するといつ

たことになつてゐます。かゝる母乳給與所には多くのナースがあつて嬰兒の検査の助手をなした時々家庭の訪問をして嬰兒取扱の指導をなすことになつてゐます。それで一九〇八年より一九二二年末までにこの研究所で取扱つた嬰兒總數九九九五人その中僅かに二〇一人の死亡者しかないといふのであります。僅かに二%の死亡率でありますから非常に結果がよいのであります。丁抹國に於ては嬰兒の死亡率は左の如くであります。我が國の嬰兒死亡率と比較すると考量すべき點が多いと思ひます。

年次	滿一歳以下の死亡(千人につき)	滿一歳と滿五歳との間に於ける死亡(千人につき)
1860	135.6	81.8
1875	154.0	68.9
1890	132.8	71.1 (ダフテリヤ流行)
1900	128.4	35.0
1910	102.2	22.6
1920	89.6	23.5 (イソフリュンザ流行)
1922	85.1	17.5

尙ほこれは参考までに上げる統計表があります。それは嫡出子と私生子との死亡數でありますが幼児保護事業から申しますと重大な關係があるのであります。次の表は丁抹國に於て出生者一千人につき滿

一ヶ年以内に死亡する數であります。

年次	都會に於て		村落に於て	
	嫡出子	私生子	嫡出子	私生子
1916	101	160	85	186
1922	82	107	81	133

この私生子が死亡率の多いことは何を物語るか、殊に村落に於てその著しい點は考量する價値があります。所謂他山の石。

尙ほロッペンハーゲン市に於て出生者一千人につき滿一歳以下にて死亡する嬰兒は左の如くであると申し上げます。

年平均	嫡出子	私生子
1881— 85	168	341
1886— 90	174	322
1891— 95	163	265
1896—1900	151	237
1901— 05	135	215

1906—	10	112	178
1911—	15	91	127
1916—	20	83	105
1921		62	81
1922		74	89

六、

丁抹國を横斷縦斷する積りでユツペンハーゲンのあるゼーランド島を眞西に汽車旅行しフユネン島でオーデンスに下車したのであります。オーデンスでは小學校二校中學校を一校參觀したのであります。アンダーセンの舊家を探ねることが出来たのが何よりの紀念であります。お伽噺の大家アンダーセンが生れた貧民長屋が今はアンダーセン博物館となりアンダーセンの紀念品が多く陳列せられてゐます。一九〇五年四月二日がアンダーセン百回目の誕生日、この日にオーデンス町がこの博物館を紀念にしたものであります。世界を流浪し失戀の結果長き獨身生活をしたアンダーセン七十回の誕生日を祝福してなくなつたアンダーセン丁抹の生んだ世界的な大家の立派な銅像も出来てゐます。更にオーデンスより丁抹の半島に渡り縦斷して獨逸に入つたのであります。余談は割愛いたします。



七月の幼児生活

東京府女師附屬幼稚園 卜 部 た み

七月の主材

- ◎夏の暑さ(幼児自らの生活、外界の観察)
- ◎七夕祭り(お盆會)
- ◎青梅の取入れ、及桃梨葡萄等のみのり、
- ◎朝顔、ダリヤ、其他夏の草花及びその手入れ、
- ◎蠶の飼育觀察、其他動物飼育
- ◎水遊び、其他夏の遊び
- ◎夏の昆蟲(バッタ、イナゴ、蟬、蝶、蜻蛉採り)
(鈴蟲、松蟲、きりくす、くつわ蟲、螢等飼育)
- ◎蚊、蠅其他の害蟲の害、及びその驅除
- ◎夕立、雷、虹、其他夏の天態。夏働く人々の活動
- ◎夏休の樂しみ、夏休みに際してのお別れの會
- ◎保育時間短縮(午前七時半——十時半)

◎夏休み中の生活(海岸或は温泉其他の生活)

(附記)

休暇中に於ける生活の教育的利用に資するため
に、休暇前約一週間は數人宛の保護者會(保姆
との面會打合せのため)をひらき、なほ次の様
な印刷物を交布いたします。

△夏休み中の保育上の心得となるもの。幼兒及保
護者名簿

△今學期中保育の概要。保育狀況(學報にも記載
す)談話、遊戲、手技、觀察事項、唱歌、其他
の題目、要項、樂譜等(但し是は凡そ毎月配布)
△身体検査表、各幼兒身体發育比較表、其他調査
の一般

曜 週	第 一	第 二	第 三
1	<p>自由遊び まゝ事、積木、笹舟、其他)</p> <p>觀察 小學校庭—寄宿舎庭—本校—門前 (電車、自動車、撒水車、人力) (自轉車、其他)</p> <p>手技(圖畫自由發表、切抜、貼紙 談話、繪の説明的發表) 唱歌、遊戲(復習)</p>	<p>飼育物の世話(ひよこ)</p> <p>談話(ひよこの話)</p> <p>唱歌(ひよこ)(新授)</p> <p>汗の間答</p> <p>手技(團扇作り、銀杏の葉にて)</p> <p>水遊び(油屋ごっこ、水鐵砲其他)</p>	<p>自由あそび</p> <p>朝顔のつる手、水やり、草とり等</p> <p>蠅、蚊等の觀察</p> <p>害蟲について話</p> <p>蠅とり袋作り、蠅とり</p> <p>唱歌、遊戲(ひよこ其他)</p>
2	<p>自由遊び(同前)</p> <p>其の間に文字調査</p> <p>談話(お星様)</p> <p>手技(星形塗繪、切抜)</p> <p>水遊び、其他自由遊び</p>	<p>自由あそび</p> <p>文字調査(同前)</p> <p>觀察 小學校庭—校舎内—理科標本室—各 教室貼出しの圖畫成績—琴四男 砂場共同作業(地型作成)</p> <p>手技(自由畫に發表)</p> <p>唱歌(ひよこ、夕立其他)</p>	<p>自由あそび</p> <p>文字調査(同前)</p> <p>蟲類觀察(きり)す、するつちよ)</p> <p>水遊び、しゃぼん玉</p> <p>遊戲及唱歌(練習)</p>
3	<p>身體検査</p> <p>自由遊び(同前)</p> <p>談話(夏休み)</p> <p>幼兒自由發表</p> <p>自由畫</p> <p>同上展覽會</p>	<p>自由あそび</p> <p>花壇の手入れ、水やり、草とり等)</p> <p>談話(河童と雷)</p> <p>お手紙ごっこ、郵便配達のカバン作 り</p> <p>唱歌、遊戲(練習)</p>	<p>自由遊び</p> <p>にはとり、小鳥、花壇の世話</p> <p>談話(人形の旅行)</p> <p>手技(繪の内部の一部塗繪)</p> <p>旅行ごっこ(と製の輪にて汽車を作 り走りまはる)</p> <p>遊戲、唱歌(練習)</p>

曜 週	第 四	第 五	第 六
1	<p>自由遊び (庭の木影に集合) 空、雲行、曇天等の観察 音と聲のきき分けあそび ごろ／＼おとしの遊び 唱歌、遊戯(夕立及其他) 談話(七夕祭りに就て) 手技 七夕祭りの仕度 (折紙、たんざく作り等)</p>	<p>自由遊び 花壇手入れ、あぶら蟲たいぢ 蟬の聲を追つてあそぶ 談話(夕立、虹) 手技 塗繪、虹の橋 七夕祭り仕度のつどき</p>	<p>自由遊び 七夕祭り仕度 色紙、短冊に文字、繪をかき竹につける 七祭り(尋一合同) 七夕様の話、談話、本讀ミ お話あそび、遊戯、唱歌</p>
2	<p>自由遊び (數觀念調査) 肋木、輪くぐり、リレー、平均臺 等運動 手技(誕生會のおくりもの作り) (圖畫、手工テープ、キビガラ)</p>	<p>自由遊び(調査)同前 (數觀念調査) 誕生會準備 誕生會(尋一合同) 觀察、校庭) (青梅、桃、梨の實其他)</p>	<p>自由遊び、(色觀念調査) 注意集注練習(お目々つぶり) 蓄音機をきく 談話(お盆のはなし) 手技(提灯作り、塗繪及切抜) お土産とす</p>
3	<p>觀察 (朝顔のつぼみ、花のいろ／＼) (蛇目草、ひまわり、ダリア等) 校門 竹早町道新工事作業、タンク トラック、自動車、其他 自由畫 唱歌、遊戯(練習)</p>	<p>自由あそび 唱歌、遊戯練習會 (談話) 夏休みの楽しみ、注意</p>	<p>終業式。</p>

幼二 七月の生活

曜 週	1	2	3
<p>第 一</p> <p>自由遊び 花壇の手入れ、朝顔のつるに手をやる 水遊び、水まき 油屋ごっこ この間に數、文字に 水屋さん 關する表れあり除々 金魚さん に整理す 唱歌遊戯—水鐵砲、蝨其他</p>	<p>自由遊び 七夕祭及七月生れ誕生會</p>	<p>自由そあび 水遊び多し、其他同前 身體検査 觀察 傳通院境内—葉櫻—附近建築作業 場の活動</p>	
<p>第 二</p> <p>園内觀察 (蟻の巢、蟻の卵、かたつむり及その卵、きり) 其他昆蟲飼育 水遊び(手技) 水鐵砲つくり及笹舟作り 唱歌(笹の舟)新校及其他 遊戯(復習)</p>	<p>自由遊び 觀察(夏の庭) (本校—小學校—银杏等—寄宿舎庭) 豆のつる、藤のつる、ぶだうのつる、朝顔のつる、つたのつる其他 草花、银杏の葉の色のかすり方 手技 银杏の葉にて、せんす、うちわ作り</p>	<p>植物園行き 午前八時—十時 涼しき木影に遊ぶ 水蓮、蓮、其他夏の草花、青梅 其の他の實のり、蟬、蜻蛉、バッタ等採集</p>	
<p>第 三</p> <p>自由そあび 觀察 (同心町電車線路工事) 鶏嘴の一勢に揃ふ様。 漸次に揃つて位置のかはる様。 唄聲の如き掛聲、トラツク、車道歩道の別 (小石川高等小學校建築作業場) 手技 觀察(發表)自由畫、粘土等</p>	<p>自由遊び(數觀念調査) 自由畫及手技 (粘土) 唱歌遊戯練習 水あそび</p>	<p>自由遊び 花壇手入れ、水遣り つるの手入れ等、害蟲除け 植物園ごっこ 砂場につくる 幼一お客様になる</p>	

		曜 週				
第 六	<p>自由遊び(色の觀念調査) 七夕祭りの仕度(手技) (色紙、短冊作り其他、竹の葉に つける)</p> <p>談話(七夕祭りのこと) 唱歌、遊戯、お話遊び</p>	第 五	<p>自由遊び(文字調査) 七夕祭りの仕度 手技(材料隨意、手工テープ、折紙 (キビガラ)) 夏休みの旅行ごっこ (汽車遊びの發展) 夏休みの楽しみの問合も行はる 唱歌、遊戯(同前)</p>	第 四	<p>自由遊び(文字調査) 水遊び、しゃぼん玉、水鐵砲 箱庭作り、花壇の手入れ 手技(昨日の觀察の記憶畫) (工夫の鶴嘴の繪多し) 唱歌遊戯(笹の舟、其他)</p>	1
	<p>自由遊び お盆會の話(銀杏寺の墓參) 手技及自由畫 色紙、手工テープにて 提灯作り(お土産とす) 唱歌遊戯(練習)</p>		<p>自由あそび 園内觀察 (ひまはり、朝顔のいろ、ダ リヤ、たんばぼうづき等、おう と、蟬、とんぼ、ぼうふら等) 唱歌(私の花壇)新授 唱歌、遊戯(練習)</p>		<p>自由遊び(數觀念調査) 觀察(蠅、蚊、蜘蛛、蜘蛛の巣) 談話(蜘蛛と王様) 手技(自由畫) 繪の展覽會</p>	2
	<p>終業式</p>		<p>自由遊び 休暇に際しての送別懇親會 (お話あそび、朗讀 遊戯、唱歌、談話等) 夏休みの楽しみ、注意、約束等</p>		<p>自由遊び 談話(夏休みの話) 夏休みのお手紙 郵便遊び 同前―暑さの見舞の意見等 唱歌、遊戯(練習會)</p>	3

五月の保育手帳から

五月の初めには二の組即ち年長組の幼児の各家庭に、生活調査として次の様な問合せを致して見ました。

幼児の生活調査(二ノ組)(幼児の名)(母の名)

1. 昨今はどんな方面に最も興味をもつてゐますか
5. その以前は。それはいつ頃からいつ頃迄でしたか。それは何かの影響と思はれるものがありますか。

3. それら子供の興味をどんな風にお取扱ひになつて居られますか。

4. 日常「自分の事は自分でする。」といふ様については、どんなお取扱ひをして居られますか。

5. 御家庭で使用の遊び道具、繪本、其他。御記入下さい。

6. 幼稚園への御感想

・特に注意ありたしと御希望の事。

b. 特に良いと思ふ事。

c. 質問。

d. 其他。

右の回答に就ては前年と今年度の二回分をまとめて記してみたいと存じます。家庭と幼稚園の聯絡の實際として、なるべく母親のおくり迎へを主とする様、やむを得ぬ都合のものは少くとも月に一二回は母親自身園をのぞき保母はせめて立話となりとも、保育上の打合をしたといふ心持で、殆どそれが實行されて居ります。けれども又時々此の様に全般にわたつて回答を求める事を致しますと、私共の参考資料を得る事は勿論として、かなり家庭への刺戟を提供するよすがとなるのを感じます。従てそれが子供達の生活の上によい影響を來す事も嬉しい事でございます。

回答者は男女各十五名、合計三十名。1項の答は「幼稚園手技に關するものが殆ど全部で、即ち

繪をかく事、或はそれを切り抜いて立て、遊ぶ事
 女兒は着せかへ人形を作る事等。」中に文字をかく
 事、讀む事、數へる事等に興味がむいて來たとい
 ふのが全体の三分の二程で、又その反對に盛んに
 文字や數に關した質問があつたものが四月以後全
 く打ちすて、只三輪車其他で戶外遊びに心をひ
 かれてゐるといふのが男の中に二名ある外、別
 にかはつた事はありませんでした。2の項も季節
 の關係もありますが、遊びの傾向が、多く幼稚園
 生活及び家庭の兄弟姉妹の影響によるといふのみ
 で、幼稚園で考へてゐたのと殆ど一致した結果で
 した。

本年は男の子で凡そ其の組の中心になつて居る
 子供が、四月以來活動寫眞の影響と見られる遊び
 を輸入して困りますので、調べますと、矢張家族
 の人、或は澤山の雇人達と見にいささうでしたの
 で、早速家庭にも注意し、他の面白さうな遊びへ

轉換する様仕向けました。數日の後庭の眞中へ椅
 子テェブルを持ち出し、そのまはりに男の子數人
 を集めて自分が中心になつて、頻りに大きい聲で
 指圖をして働いて居ります。テェブルの上には飯
 事道具が少しばかりと石や木の葉がならび、その
 周圍に腰かけた男の子達は大きい長い砂鎗を腰の
 バンドにさしたまゝなので、初めは戦争ごつこの
 後の一休みかとも思はれました。

中心になつてゐるその主人公の聲をきくと、

「チキンライスとハムサラダ。」

「ライスカレー二枚。」「それからえいとカツレッ
 一つ。」

「はい、おまちどうさま。」

担任のT先生が砂場の側でみてゐた私の耳もとへ
 「ちよつと。まあYちゃんは今度は……………」

二日程経て久々でお迎へに來られたお母様にたゞ
 すと、果せるかな、此間からお家の直ぐ傍へ新ら

しく洋食屋が出来たといふ事でした。(Yちゃんも東京の繁華な下町にかなり手廣くしてゐる醫師の家庭に、大きい姉ばかりの末子として、然も只一人の男の子として育てられて来て居ります。)

此の様に遇々わかり易い表れとして子供の生活を
を知る事が出来ました。けれども、同じ様な事もつと目立たずに、或はもつと子供の純な心に悪い汚點を作つて行きつつある事を、保母も母親も知らずに過してゐる様な事はありはしないかと考へますと、ひやりといたします。

第3項の興味の取扱に於て、成程と思ふ回答を得てゐますが、中に一名は「放任主義」「自由主義」と書きはなしのが二名ありました。よき主義であるべき筈の是等も、人により、考へ方により、方法により一寸解釋に迷ふ事があります。

第4項はそれ／＼具体的の方面を書いたのが多く御座いますが、中に「言ふてきかせますが、實

行いたしません。」といふのがありました。幼児が口で言はれた丈で實行が出来たら、家庭教育にも幼稚園教育にも考慮や苦心や煩悶がなくなつて、ほんとに極樂です。幼児訓育に就ては、先づ第一の「子供其のものを知る。」といふ事が、母親保母にとつて、もつと／＼切實に考へられねばならぬ事を感じますと同時に、自分の見等方面に對する智識の特に足りなさに、身の惜き處もなく感じました。

第5項に就ては是迄時々行つたものと一緒に纏めていつか記しませう。

第6項のa希望は各個人にわたる事のみで一般としてのあまり御座いません。例へば、注意集中する様。他人に對して出しやばるを直したき事遊びの編しない様色々な方面に仕向けられたき事等。

b項では園外保育の多い事。それをよく利用し

て呉れる事といふのが非常に多数で御座いました
 c の質問の項も殆ど是と似て居りますが、その
 中の二三を記して御教示を願ひ度う存じます。

○童謡(唱歌)はなるべく心持よく響く、よい内
 容を盛つた美しい言葉が望ましいと思ひます。隨
 分澤山に發表される作をどん／＼教はつてくる近
 所のお子様方からのきゝ覺えの中には如何かと思
 はれる點もありますので、子供に與へるものとし
 ての廣い立場から整理していただく事は出來ない
 のでせうか。

○遊び道具(例へば飯事道具)を始末させようと
 すると、そのために遊びを止めるやうな事をどう
 したらよいでせうか。

○子供の事ですが、此頃のM子の様に少しも智
 識欲のない場合、こちらからは何も與へず自然に
 慾の起つてくる迄待つてゐる方がよいでせうか。
 少々は起させる様仕向けた方がよいものでせうか

幼稚園ではかういふ事に就てどういふ様にしてい
 らつしやいますか。

○

以下省略

四月廿七日の事で御座いました。

風のために二日程休んだ正己さん(四年二ヶ月)
 は、相變らずなかなかお母様の手を離し難い様子
 で居ります。やさしいお母様は、色々となだめす
 かして居りました。暫くたつた後

「今日こそ思ひ切つて歸らうと有じます。いつま
 でも同じですから。只今御不淨へ一緒に行くと申
 しましたので、私も這入ると申してその間に置いて
 來ましたから、出てまゐりましたら宜しく御願
 ひ申します。」

「あら。だまつて？では正己さんはあそこに？」
 とお母様の後姿にとひかけ乍ら、ブランコの押し
 手を傍にゐた先生にたのんで、急いで駆けていき

ますと、手洗の所に半泣きの正己さんが獨りたつてゐます。

「どうなさつたの、正己さん。」

「ママちゃんが見えないの……………」

「……………」あつちへいつておさがしませう。」

「ウウン。こゝよう。先生さがして頂戴よう。あ

けて……………」

順々にノックをしたり、空らしい戸を明けたりして後、結局二階の附添の室につていらつしやるといふ事になつとくさせました。今度は二階へ行きたいとせがみます。「お手々をきれいに洗つて先生としつかりつないで居ませう。」と連れ立ち、一時間程は専ら正己さんに氣を配りつゝ遊びました其間に丁度よい友達も選ぶ事が出来て、お部屋に入る頃には全く泣きがやんでゐました。「ころりん爺さん」のお話を聞いたり、唱歌をうたつたりしてからお辨當になりました。食事の度に思ふ事で

すが、殊に何もかも打ち忘れておいしさうに食べてゐる正己さんの顔をみて居ると、「幼児教育に於ける食べる事の教育的價値。」といった題目でもつけたい様な事を又考へるので御座います。

お辨當以來親しくなつた勉さんと一緒に遊んでゐる正己さんは、もう當に遊びに餘念がありません。

さうなると今度は、私の方が氣がゝりになり出しました。

「もう一時にもあと廿分。正己さんのお迎へもそろ／＼來て呉れなくては。お迎へがおそいと又あと戻りになるかも……………」『ママちゃんお二階だつたのね。』なんてとびつくだらう。」

一人宛順に「さようなら。」を初めた時、外のお迎へのむれの中に、正己さんのお迎へをちらつと見つけました。同時に「はつ」としました。

それはお母様であるとはかり信じてゐたお迎へ

が毎日のお附きの女中さんであつたのです。「お二階にいらつしやる」などと、一時のがれを言つた私の心も知らないでか。

「先生、うそつきねえ……。」そんな言葉を聞けばまだ幸せの事。口には何の發表がもれないでゐて純真な心を傷つけたり、いためたりする結果になつたら……。」「けさの場合はそれより仕方がなかつたのだけれども……。」「子供を悪くするのは大人だ。然もかりにも保育者などと特別の名をもつてゐるくせに是だ。保育の實際に當つては——その時々にも最も適當の處置、最善の方法と信じたそれにむかつて——こんな言ひ草だけは人真似をして……。」

「やつぱりあのお母さんにもつとよく話しておいで、無理のないよい機會を待たせればよかつたのに……。」「結果をいそいだ矢敗の適例を來してしまつた。それにしても何といふ口實をつくらういや何と詫びようか。」こんな事を考へ續けてゐる間に一列並びが出來ました。

遇然か私の心を知つてくれてか、今日に限つて

正己さんは一番しんがりにすまして番のくるのを待つてゐます。とう／＼番がきました。

「先生さようなら。」

「さようなら。今日は強い、お子さんになりましたね。」

「人の子を育てる正しい道もおぼつかない保母のくせに……。」といふ様な責めが顔を上氣させてきますのと胸の間に大きな塊のつかへた様な私は、下駄箱へ走つていつた子供達のあとへ一二歩足を進めた時でした。突然、正己さんが私の方へ駆けて來ていきなり飛びつきました。

「先生！ ぼく 今日から送り迎へだつたのよ。」

「……。」「反射的に正己さんを抱き込んだ私の嬉しさは、とても／＼かき表はす事が出來ません。」

「おくり迎へ」の實行者になれた愉快に輝いたその歡をみるにつけ、あのいつもの不安の顔の中に幼児ながらに強い子にならうと努めてゐたあとを愈々はつきり知る事が出來ます。

私共は眞當に子供に教へられ、救はれて居ります。

簡単な運動の遊戯化

東京女高師 三 浦 ひ ろ

いつか私は遊びの身體的整理に於ける主眼點の一つを、身體の發育助長に資するやうに材料をアレンジする事にあるといつたと思ひます。今其の事に就いて稍悉しく述べて見たいと思ふのであります。

勿論それは運動を主としたのであつて作業を目的にしたものではないのであります。

ですから選ぶ材料も身體運動に極めて適切なものでなければならぬのであります。それならば一體どういふ運動が最も子供に適してゐるかといふ事を考へなければならぬと思ひます。

それには第一に複雑でない運動でなければなら

ぬと思ひます。

運動は複雑になればなる程頭を使ふのでありますから子供には出来るだけ簡単な運動をえらばなければならぬのであります。體を前後に屈げる運動とか、歩く事とか、駈歩することとか又は體を左右に屈げる事、跳ぶ事といつたやうに極く原始的なものからはじめなければならぬのであります。之等を行ふに非常に容易であると共に子供の身體發育の爲に又頗る重要な運動なのであります。之等の運動を適當に配合して行はせる事が出来るるとすれば身體運動として大層理想的のものとなるかも知れないのであります。現に巴里の或私

立躰操學校では幼児のクラスを設けて五六歳の子供にも簡単な躰操を授けてゐるのを見た事がありますが、小學校に於いて既に之等の運動は學校躰操教授要目の示す所によれば一學年の兒童に課されてゐるのでありますから、幼稚園の子供にも適當な量を適當な方法によつて授けるといふ事は實に希ましい事なのであります。

しかし乍ら之等の運動は子供にとつては必しも興味深い材料ではないのでありますから之等のものを相當の時間續けて行ふといふ事は倦怠をもたらす爲にのみ有効であつて眞の效果を見る事はむづかしいのであります。そこで之等の有効であるべき材料を如何にして眞價通りに有効に使用すべきかといふ事が大なる問題となるのであります。こゝに至つて運動材料の遊戯化といふ事の必要が生ずるのであります。理智の發達しない子供であればあるだけ興味によつて之を行はしめなければ

ならないものでありますから、理智的な運動を巧みて遊戯化して之を興味深く行はしめるといふ心遣ひがなければならぬのであります。

それではどうしたら最も子供にとつて興味深く遊戯化せられた材料となるかといへば其の多くは子供達の日常生活に表れる事象中特に彼等の興味を惹起するやうなものと結びつけて行はしめるのが最もよいのあります。例へば躰の前下屈後屈等の運動を行はせる爲にポートルレースをさせるやうなものであります。まづ子供達を四人か五人位の一列縦隊にならべて床上に腰を下し兩足を前にのばさせるのであります。この場合には前後の人との距離を足がふれないのをもつて限度としたいと思ひます。何故なら子供は忽ちいたづらをするので前後の距離が近すぎては何の問題をひき起してしまひますから、かうした注意をしてまづ子供達をならべ之にオールを握らせるのであります。兩

手に握つたオールを出来る丈け前に伸して體を前に屈げるのです。更にオールを握つた兩手を出来る丈體の兩側にひきつけて躰をうしろに屈げるのです。かうした事實はよく都會の子供も地方の子供も經驗する所のものであらうと思ひます。實況をみなくとも繪畫などに或程度迄は既知觀念が入つてゐる事であらうと思ひます。かうして躰を前後に屈げるのみの運動ではありませんが、そこにボートレースといふ一つの既知觀念と連合せられたが爲に運動中に於いて子供達は躰の前後屈を行つてゐるのではなくて春の隅田川に浮んだボートの中に身を置く事が出来るのであります。そこに一つの深々たる興味を感ずるのであります。しかもこれが或種のリズムをひき起すやうに伴奏せられた場合に於いてはリズムの誘導による快感と共に一層の興味をひき起す事となるであらうと思ひます。更にうたがつけばなほの事都合がよいと思

ひます。

かゝる練習方法によつて實演せられるならば躰の前下屈、後屈といふ如き重要にして且つ無味な材料も絶えざる興味の下に數回の反覆練習にも何等の倦怠を感ずる事なく行ひ得るのであります。之等の材料は單に子供のみならず成人にとつても相當興味のある運動である時もあります。若し土地の情況によつて腰を下してなし得ないやうな土地にあつては立つて腰を押す船頭のやうにしてもよいであらうと思はれるのです。どんなにでも教師の頭の働きによつて變化せられ適用されてよい筈のものでありませう。

これは單に一つの例に過ぎませんが更に方面の變つた二三の例について書いてみたいと思ひます。それはシーソーです。シーソーと呼ばれるものにも幾様もあるらしいですが、今こゝでいふのはの方ではなくてぶら下る方のものをいふのであ

ります。御存じでもあらうと思ひまますが中央に支への柱があつてそれに大抵子供の肩の巾程にへだてられた二本の棒を横に支へしめたもので、高きは大抵子供のせい丈けより稍少し高い位のものであります。その二本の棒の兩端に一人づゝ所謂兩側懸垂の如くにぶらさがつて交互に上下する遊びでありますが、熟練した子供になると非常に見事に行ふもので見てゐても愉快なものであります。こゝでは即ちさういつた愉快を持つたシーソ一の遊びに連結させて躰の側屈を行ふ計劃なのであります。まづ中央に支への柱として一人の子供を立たせまゝ。そして其の子は兩臂を左右に伸ばします。これがつまりシーソ一の二本の棒を表したのであります。この臂の兩端に子供が一人づゝつかまゝります。そうしてシーソ一の子供は臂を伸ばしたまゝ體左右に動かし同時に兩端の子供は或は屈膝をし又は舉踵をすることになるのでこゝでは二つの運

動即ち躰の側屈を拳踵舉膝が同時に行はれる事になるのであります。そして中央のシーソ一が交替する事によつて全體の兒童が下肢の運動と軀幹の運動をする事が出来るわけになるのであります。何で五六歳の子供が拳踵屈だの體の側屈だのといふ程のものを興味をもつて行ふ筈がありません。やつぱり日常生活に於いて受けた經驗が實演に對して多大のよろこびを興へて呉れるのであります。子供は頭に新聞紙の折紙のかぶとをかぶつた丈けで立派な大將になれるのですからかうした、擬人的の動作によつて又豊かな感情を誘發される事はあり得る筈であります。

そして又かうした遊びの中に於いては運動要領の正しさといふ様な事も案外に容易に指導し得るやうであります。やはり子供の運動でも不正確なものは出来る丈け避けられなければならないので理に落ちずしかも興味を失はずに正しい方向へと

導かれなければならぬのであります。

更にもう一つの例を挙げて見ませう。それは行進の正しい練習の爲に選ばれた『フランスの王様』と稱する遊びなのであります。

これは兵隊あそびとか大将ごつこといつたやうな子供の最もよるこびさうな題材をとらへて行進を練習させようとする計劃に成つたものであります。考へてみると行進は最も簡単な運動ではありませんが極めてむづかしいもので、完全に歩き得る人は非常に少いといはれてゐます。事實些細に人間の歩行を見るとするぶん變なくせを持つてゐる人もすくなくないやうであります。しかもこの歩行といふ事が我々の運動の重大な要素となつてゐるのでありますから、これの正しい練習といふ事は先づ等閑に附してはならぬ筈のものであります。然しながらこれも只歩いてゐたのでは興味を相當に失つてしまひ、ことに種々な註文をされる

やうになれば、かへつて厭氣のさすといつた風になるものであります。ですからよほど巧みに考案せられたものでなければならぬのでありますがこのフランスの王様に表れた行進は其の邊實によく考へられたものだと思ひます。試みに次に其の方法を略述してみれば、

第一節 八呼間前進 八呼間後進

第二節 八呼間前進 四呼間で敬禮、四呼間であとへ戻る。

第三節 八呼間前進、四呼間で太鼓を打ち四呼間で後へ戻る。

第四節 八呼間で前進、四呼間ラツバを吹き四呼間でうしろへ戻る。

第五節 八呼間前進、四呼間で旗をふり、四呼間で後へ戻る。

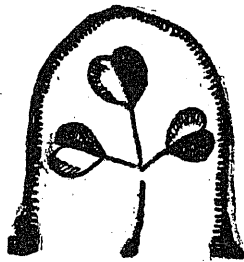
第六節 八呼間で前進、四呼間で指揮刀を抜いて指揮し、四呼間で後へもどる。

第七節 八呼間前進、四呼間でしやがんで鐵砲

を撃ち四呼間で後へ戻る。

といつた風のものでありまして行進を單なる行進として行はずフランス王の勇敢に兵士の行進として取扱つた所に子供の行進として生氣の満ちたものとして幾回もの反覆練習をも敢てせしめる魅力を生じてゐるのであります。

總じて幼稚園の子供に課する運動はかうした方面から這入るべきものではあるまいかと思ひます。そうして知らず識らずの中に正しい身體練習を行はしめなければならぬものと考へます。



遊戯講習會開催廣告

今度當校體育聖設備ノ完成ヲ機トシ夏休ミヲ利用シテ左記ノ要項ニヨリ遊戯講習會ヲ催スコトニ致シマシタ、ドウゾ奮テ御參加下サルヨウ御勸メ致シマス

昭和三年六月 東京府立高等女學校^{第六}内體育研究會主催 遊戯講習會

要 項

- 一、會 期 昭和三年八月一日カラ五日マデ毎日午前八時カラ午後三時マデ
- 二、會 場 東京市芝區赤羽町府立第六高等女學校(省線田町市電赤羽橋下車)
- 三、講師及科目

競争遊戯及球戯	體育研究所技師	佐々木 等
同	東京府立第六高女教諭	須田 四郎
同	同	古屋 末松
行進遊戯	東京女高師教諭	三浦 ヒロ
同	助教諭	佐々木 光
唱歌遊戯	東京府立第六高女教諭	戸倉 ハル
同	同	鈴木 タケ
課外講演	文部大臣官房體育課長 體育研究所長醫學博士	北 豐 吉
	東京高師教授	大谷 武一
	體育研究所技師	森 秀
	東京府學校衛生技師	

四、會 費 金 五 圓

△申込ト同時ニ納入ノコト
△受領ノ上ハ領收書ノ代リニ會員證ヲ送リマス。

△納入シタ會費ハ當方カラ御斷リシタ方ノ外ハ御返シ致シマセン。

五、會 員 幼稚園保母、小學校、女子中等學校女教員、其他一般女子

六、申 込 昭和三年七月廿五日限り住所、職氏名明記ノ上東京市芝區赤羽町府立第六高等女學

校内遊戯講習會宛

七、其 他

△宿所、芝區三田四國町戸板裁縫女學校清操寮ニ御願シテオキマシタカラ御希望ノ方ハ御申

込下サイ(宿料三食付一圓三十錢位)

△服裝、運動服、運動靴

追テ場所ハ二百坪ノ體操教室デ附屬ノ洗面所四十二、水浴場十二アリマスカラ夏ノ講習ニハ至極便利ダト思イマス



劇よりもお話

長尾豊

一
児童の劇演出が劇よりもむしろお話であり、その根柢は劇であるとしても、取扱ひの點におひては、多くお話から指示され、解決されるものである

ことは、児童の生活としての劇やお話をはなれ、くゝのものとして扱はないといふばかりでなく、解り惜い劇といふもの、むづかしい劇演出といふものを、最も児童的に處理してゆける道と思はれる。

演すべき材料は、聞いたお話に限られず、幼稚園内の小さい出来事や、自然界の觀察、動植物の摸倣擬態、もしくは大人の世界の眞似など、いろ

くあらうが、演せられてゐるものを見ると、それは多く児童の想像により、解釋によつて、りっぱに児童化され、児童の生活化されてゐる。言換へればお話化されてゐるのである。

すると幼児の劇演出としてのお話あそび、お話ごっこは、これらのいろくゝな要素を取り入れ、さまざまな接觸面をもつて演せられるものと考へられぬこともない。又その材料を採る上にも、生新な日常の出来事や、自然界の觀察なども、非常に興味のある事實には違ひないが、それを劇化し自由に演出する場合には、活潑な想像と、奇警な觀察によつて、十分に児童化されることもあける

れど、又その反對の場合がないとも限らない。餘りに生々しい事件や、細かい觀察は、ごく僅少な人(指導者をも含めて)の興味しか惹かないこともあろう。

多數が喜んであそぶ劇演出のやうなものには、此の共同性といふことが大切である。お話あそびお話ごっこは演すべき材料として、これらのいろいろの要素を巧みに採り入れることが出来、さまざま接觸面を自在に活用しつつ、なほ其所に十分の兒童化なり、普遍化なりが可能なわけになる。

二

西洋の兒童劇がたやすく演出され、幼い子供達にもそのまゝ喜んで遊ばれるのは、その材料となる童謡なり、童話なりが、十分教育的に洗練されてゐて、しかもその素材が十分兒童に親しみもあれば、容易に理解されるものだからであらうと思はれる。このことは童謡讀本から童話讀本、童話

讀本から劇化讀本と變つて來た讀み物の方からだけでも觀察することが出来る。

そこで童謡なり、童話なりのうちに、すでに試練を経、教育的にも考へられて來たものが、今度は幼兒の劇の材料と成つて演出されるのであるから、これは直ちに演出されて、少しの障礙も起り得ないわけであり、又幼い子供達の手によつて容易に動作化され、動く畫といふ意味での舞臺化されるわけである。

これをわが國の兒童劇の脚本から先づ調べてみるのにくらべれば、その間に大へんな違ひがあると思はれる。それでも兒童の活潑な想像力、奇警的觀察、摸倣、活動がそのお話興味の上に觸れた時、其所に驚くべき表現の力が働いて、しばしばわれ／＼大人に舌を捲かせることがある。

けれどもお話ごっこ、お話あそびはたゞそれだけのものではない。人に見せるための兒童劇、も

しくはたゞ遊べばよい、言はゞ一日の時間割の中に、ひとつはあつた方がよい劇ごっこ、劇あそびであるならば、あるひはそれだけでも好いか知れないが、教育演劇の一科としての戯曲遊戯であるお話あそびとして考へると、只それだけで済ますには餘りに勿躰ないやうな氣がする。

子供が伸びるものである、「發達」といふことが教育の別名のやうに思へる時、劇演出がたゞのお遊戯として過ぎてしまふことはどうかと思はれるお話にもお話段階があるやうに、劇にもその材料なり、演出の方法なりに段階がなければならぬわけである。と言つても子供を上手な役者に仕上げたり、年の割にはむづかしい物をやるとか、高尚なことが分ると言つて悦に入るわけではない

三

「大人は一切無干渉」といふことをまつ直に取つて、子供が何を演じようが、どんな演じ方をしよ

うが、關せずえんとすましてゐる指導者がある。こんな事は家庭では見られない。どんな非教育的な家庭でもきつと干渉する。又そのために兒童が過大なる負担に苦しむ場合もないことではない。無干渉も干渉も共に宜しくないと思ふ。放任は結構であるが、助力は必要である。

「かうせよ。」「ああせよ。」といふ指導者がいけないとしても、兒童がどうして好いか分らぬ時、又ごく僅少の暗示で容易に、且つ美しく動ける時、全体の統一がとれて遊戯が均齊され、調和されたものになる時、黙つて見てゐるのも、氣がつかないのも同様にいけないのだと思ふ、危険を除き、困難を去り、披勞を防ぐやうなことで、干渉と混同してゐるのは最も悪い指導者と思はれる。

こゝで指導者の重荷を軽減する手段のひとつを考へれば、それは演出について十分考へて掛かるか、さもなくば演出と指導を全然切離して扱ふか

である。確たる演出案も持たずに兒童に、のぞんで、偶發的な——それゆゑに更に又甚だキャブリシヤスな——指示を與へることは、演者に取つてこんな有難迷惑な話はない。

材料をお話から採ることも、確かに指導者の負担を軽くすることに違ひない。演技は理解を通して生まれる。親しみがあつて、理解されてゐるものであれば、兒童は自分のこととして働く。その場合解釋が全く間違たものならば、傍からそれを正すことも出来ようが、演者の解釋の間違によつて、それ／＼違つた演技をするならば、演者の個性を重じて、その違ひを眺め、又必要があれば外の子供達と一しよにそれを見て、注意をうながすことも出来よう。

質 問 欄

朝鮮の幼稚園に在勤の方より左の如き御希望があり他にも同様の御希望が多いから本誌に質問欄を特設いたします。質問に應じそれ／＼専門家の意見を載せる豫定であります。

拜啓貴會御發行の『幼兒の教育』を豫ねて愛讀致し居り候處かゝる國境の果に居りながらいろ／＼と新しき事に御導きを賜はり誠にこの上なき好機關と厚く御禮申上げ候扱て私共遠隔の者にして此道にたづさはる者の爲め御誌上に質問欄を御設け下され毎月御導き下さらば誠に幸福この上なしと希望致し居り候まゝ御手數をも省みず右御願ひ申上げ候

幼児の手技研究会六月會プログラム

〔手技の出来る先生の手は優美であたゝかなり〕
〔幼児の手藝品は家庭との關係を親しく優美に結びつく〕

一、来る廿五日(土曜日)廿四日(日曜日)午后一時より手技研究会を開催します、萬障御繰合せ御來會下さいませ。

一、地方の方は是非通信研究部になさいませ。

手技新資料

一、鈴蘭の貼繪 二、風車 三、圖案形折紙各種 四、縫取(掛縫形。幼児にすぐにさせられ非常に面白い縫取)

番外 特別製作 クレープペーパー細工のお人形、或は美しい花籠(何れとも希望による)

用具

鉛筆、クレイオン、鋏、糊、ヘラ、針糸(レース糸或は小町糸或は毛糸二三色)縫針、カタン糸、編物針 特別製作に入用

以上

東京市牛込區納戸町六番地(電車市電牛込北町下車)
省線市ヶ谷驛下車
東洋幼児園牛込分園内

幼児の手技研究会



幼児の手技について

久門嘉祐

子供は先天的に創造創作といふ傾向を有して居ます。此の内的刺戟から何かものをこしらへるといふことを非常に好むものであります。否寧ろそれが子供の生活であります。従つて幼稚園に手技の大切といふことは申すまでもないことであります。乍併それがどう大切であるといふことを縦斷的に引つつかむといふことは、これはなかく容易ならんことであります。けれども毎日實際保育にたづさわつて居る我々は、何とか努力研究して其の眞價を味ふまでにいきたいと思ふのであります。

一、手技と觀察

幼稚園に觀察といふ科目を新設されたといふことは誠に慶賀の至りであります。實に我國幼児教育の一大進歩と言はねばならぬのであります。而して此の結構な保育種目を毎日の保育にどう實行するかといふことについては始めてのことではあり、文部當局からも別に具体的方法を授けられないのでありますから、各園工夫を要するのであります。何か特別な方法をもつて觀察を短刀直入に訓練するのも一方法でありますが、又毎日の保育上に觀察といふことを忘れてはならぬと思ふのであります。全体子供といふものは生れ落ちると順次光を見、音を聞き、物を探り、物を見、物を

取扱ひ、物に對して活動を起して行くのであります。如上觀察は子供の發達につれて自然に行はるゝものであります。子供の發達と觀察とは決して離るゝべからざる水と魚との關係になることは否定を許さぬところであります。否寧ろ極言すれば觀察が絶對になかつたならば子供は決して育つものではないのであります。已に觀察が子供の發達であると言ひ得るのであります。子供の發達を指導するといふ目的の毎日の保育に當つて先生の頭が觀察といふことに確つかりと落着いて居るのと否とでは其保育の價値に於て雲泥の差を生ずるといふのであります。一例を擧げて見ますと、幼兒に繪をかゝせようとするに當りて其結果にのみ執着して構圖とか描方とかを指導するといふのみに走つたならば、遂に其子供の繪は形式に捕はれた繪になつてもう自然の繪をかくことの出來ぬといふ不幸に陥るのであります。それが子供の繪を指

導するに當つてのみでなく日頃物をよく見て尙其物に對して興味を有つといふ風に指導して行く、こうして自然に幼兒の心に繪を生ひ立たせ其心を指を介して紙上に表現せしむるので茲に尊い幼兒の繪が出來るのであります。以上幼兒の繪についての一例でありますが、幼兒の生活萬般に互つて觀察が基調となつてゐなければ本當の活動にはならぬのであります。

さて觀察といふものは大體目耳から入るのであります。全體人間の目耳は非常に輕便に見開が出來るところからつい粗漏に陥り易いのであります。只見た聞いたといふだけでは觀察といふことは出來ぬのであります。觀察といふのは外界の物を心に接せしむるのであります。又心を物に突つ込むのであります。即ち心に觀せ心に聽かせ心に味はせるのであります。故に觀察といふのは目或は耳に依るのみではないのであります。少くとも

身體外部に表はれて居る部分はこれ觀察機關であります。殊に指先は其の最も重要なものであります。指頭は非常に神経が鋭敏で、手に觸はつたことはすぐ其儘で心に通じ、又心の働きはすぐに手に表現されるものであります。實に心と指先は直通であります。即ち盲人は指先に觸つて物を知るのであります。曾て盲學校の先生に此の學校では靴の始末に嚙々お困りであらうと絶大な同情を向けました處、先生は案外平氣で、いや其の事ならば御心配無用盲人は一寸手が觸れば自分の靴と人の靴とはすぐに直覺する。如何に混雜に脱ぎ捨てあつてもすぐに自分の靴を捜し出す、目明のやうな粗漏はないからなアハハハ、此の處一寸目明眼色なしといふことになつてしまひました。佛教の方では五指の先には佛菩薩の住し給ふといひ又指先は即ち心眼なりともいひます。盲人は即ち心眼で物を觀るのであります。即ち手觸るといふこ

とは觀察即心に觀せる、心を外的に表現せしむる尤も大事なことであります。即ち幼兒の手技の嚴密なる意義はこゝにあると思ふのであります。従つて幼兒の心の發達の程度、性格趣味といふやうな物細密なことが手技になつて來るのであります。これは手技手藝に磨かれた先生の心は鏡には明確に寫るのであります。故にこれに依つて少くとも日々の保育に豊かな確實な方針を得るといふことになるのであります。そしてこれから出た保育は即ち先生が子供を觀察しての上でありますから同情愛情が基となつた温いまことに優美な而して其の各幼兒の現在現在に、びつたりとくつゝいた保育法がもう自然に出來ると思ふのであります。幼兒に直接させる手技の研究も必要であります。又傍先生が充分手技の材能を獲得するといふことも刻下の急務であらうと思ふのであります。

(つゝ)

朝の一時間

むらさき

四四

八時二十分頃幼稚園の入口にくと治さんと震一さんが私の來るのをまつてゐた。急いで二人を附添からひきとつて川の組のお部屋へゆくと實習科の方たちが八時の授業の前にきれいに掃除をしてあつた。窓ぎわの植木臺の棕櫚竹とスウキトアリサム雛ぎくなどの鉢うゑに水をやる。

水槽の金魚や硝子鉢のかたつむり四匹も異状がない。幼児と一緒にお花の水をとりかへに廊下へ出ると早くからきてゐたのか博久さん恵美子さん卓治さんが遊戯室の方からとび出して來て「先生お早う」と後からついてくる

五人の幼児と長椅子に腰をかけた私は

「皆さんは毎日早くから幼稚園にいらつしやるのね、一度も先生が一等になつた事がない」

といふと幼児はいづれも大得意（この人たちは女學校や小學校のお姉さんと一緒にくるので普通の登園時間よりは一時間も早い）

「皆さんは幼稚園で何が好き」

「遊戯」

と一人が云ふ又一人又一人又一人遊戯の讚美者

博久さん曰く

僕お話も大好き（この人はとくにお話がすきの様で入園當時お話の時だけは附添をはなれた）あゝさのふのお話随分面白かつた（自分は至つてお話

が下手であるが昨日は大きな毯の話で猿や猫や犬
鼠にはとりがつき／＼とまりの中にころげこんで
大きなまりはキャンニャアワンチューコケッコー
ところ／＼ころがる内容形式ともに面白いお話で
あつたから)

「あゝあの大きなまりのお話ですか先生もあのお
話は大好き」

恵美子さん

「あたしも面白かつたわ、おうちへ歸つてお母様
にしてあげた、おしまひは忘れちやつて云へな
かつた」

治さん

「おさむちやんもお家で話した」

「あゝそう、されから何がすき」

「お辨當も大喜き」と震一さんがいふ。

しづかに入口の戸をあけて益彦さんが入つてきた

「益彦さん今日は電車ですか」

ときくと白い小さい歯を出して笑ひながらうなづ
いた。そばにゐた人たちも

「僕も電車」「僕も省線」

と口々に云ふ

これで七人になつた。

「ゆうべは随分雨がひどく降りましたね」

と話しかけると震一さん曰く

「僕は地震があるかとおそくまでおきてたからあ
らしをしつてゐる、きのふの地震で僕つぶれるか
と思つてにげ出さうと思つた」

ほかの人たちはあらしをしらない様子。

よし子さんが入つてきた。

私のそばに話をしてゐた男の子三人はいつの間
にか長椅子のそばへ自分の椅子をもつてきて、電
車遊びをはじめた。

義朗さんがよち／＼の足どりて入つてきた。

おさむさんは急に思ひ出した様に上衣をあげて

「先生ばんどをしめてきたの、きのふお母様がお姉さまと一緒に三越からかつてきてくださった、夕方かへつてきたの」

「まあきれいですこと」

おさむさんは随分うれしそうにバンドをいぢつてゐた。繁哉さん克彌さんがきた。二人はすぐにお部屋の中の砂場で遊び出した。

静子さん取子さんがくる。

幼稚園のばあやが幼稚園協會の書留をもつてきた私ははがま口から印を出して受領認におしてゐるとそばの一人は

「僕もお金をもつてゐる」

と云ひ出した。

女の子四人でおにごつこを始めた。

美那子さんと和子さんのぶ子さんゑい子さんが連れ立つてはいつてきた。

旅客用飛行機がはじまつた。博久さんは運轉手

になつてつき／＼くる人をお客にしてゐる。

一雄さん好禮さんもきた。

おにごつこをしてゐた女の子のかたまりは人数がふえたのでいつのまにかかごめを始めた。

眞士夫さん兼三郎さん庄次郎さんもきた。

お部屋の中は砂場あそび電車飛行機遊びにかごめ遊びと面白そう。

入園開始の今から一ヶ月半ばかりの前を思ひ出して幼児お互がこんなによく遊べる様になつた事をつく／＼うれしくながめた。

時計を見ると丁度九時二十分

本校の園藝の先生からいたゞいておいた花壇の金盞花と三色すみれを摘みに、皆をつれて出かけた。

(五、二八、)



此頃の實話

つばな

問「からだが黒く小さくて、この頃地面の上を、あつちへ行たりこつちへ行たりして、せつせとお仕事をしてゐるもの何？」

答「蟻。」「ばつた。」

さうね、ばつたも地面の上を歩いてゐるけれど、ばつたはつかまへようとするとピョンと跳ぶでしよ。蟻はばつたのようにはとべません。今日は蟻の三郎ちゃんのお話をしましょう。

三郎ちゃん蟻は生れたての赤ちゃんの時分は白い小さい卵の中にゐました。そして一番地面の下の方のお室に入れられました。でもお天氣の良い日には、日あたりのいゝ處へ抱いて行かれました。

お母様蟻はなかなか外へ出る事が出来ないので抱いて行て下さるのは、働蟻といふ小母さん達でした。小母さん達の働蟻はお父様やお母様にくらべると身體が小さいのですが、よい赤ちゃん達を可愛がつて、食物から、身體の世話お室のお掃除もして下さいます。

その内三郎ちゃん蟻は卵から出て小さい白い蟲になりました。そして蠶のように繭といふ小さいふくろを自分で作つてその中に入つてしまひました。働蟻のお母さんは、繭には入つた三郎ちゃん蟻を二階の方のお室にうつしました。そこで三郎ちゃんはだんく身體の形が變て小母さん達のよう

な頭と胸とお腹のある、そして六つの足がついてゐる蟻の身體になりました。三郎ちやんが繭から

出られないで困つてゐたら小母さんが繭を切つて出るのを手傳つて下さいました。出たばかりの時は足がふら／＼してなかく／＼歩けません。よろよろしてゐると小母さん蟻は羽根をなでたり身體をさすつたりしてよく世話をして下さい其の上おいしい食物を持つて来て下さいます。かうなると三郎蟻はまた外のお室につれて行かれます。蟻のお室にはお室がいくつもあります。卵のお室、赤ちやんのお室、食べ物のお室、そして其のお室のお掃除、食べ物を持つて來ること、赤ちやんの世話をすること、お室が足りなくなつた時、新しいお室を作ること、みんな小母さんの働蟻がするのです。

この小母さんの働蟻は、小さい身體で羽根がありません、お母さんは三郎さんや他の赤ちやんの生れる時分は立派な羽根をもつてゐましたが、少

したつとその羽根がなくなつてゐました。お父さんも右と左に二枚づゝ羽根を持つてゐます。

或日三郎ちやん蟻のお室に大變な事が起りました。といふのは人間といふ力もちが來て、三郎ちやん達のお室を破つたのです。大勢の小母さん達働蟻は卵を持つたり繭を持つたり食べ物袋を持つたり、また三郎さんのようにまだ蟻になりたてで身體の丈夫でないのを抱いたりして大急ぎで逃げだしました。それは／＼忙しさうに歩いてどんどん逃げだしました。もう人間が來ない大丈夫な處へすつかり運んでしまつてから、今度は新らしいお室を作る處をさがしに出かけました。そして毎日毎土を掘つていゝお室が出來ると又其處へ皆達を伴れて行きます。

問「皆さんは、蟻のお引越しを見た事がありますか」

答「いゝえ」

今度幼稚園のお庭でお引越があつたら見ましようね。働蟻はまた其の外にあぶら蟲を飼つたり、

草を植えたりします。皆さんがお菓子の片やお砂糖を土の上に置いとくと、いつのまにかまつ黒に蟻がついてゐる事があるでしょう。あれはみんな働蟻が食べ物室にためる爲にとりに來るのです。

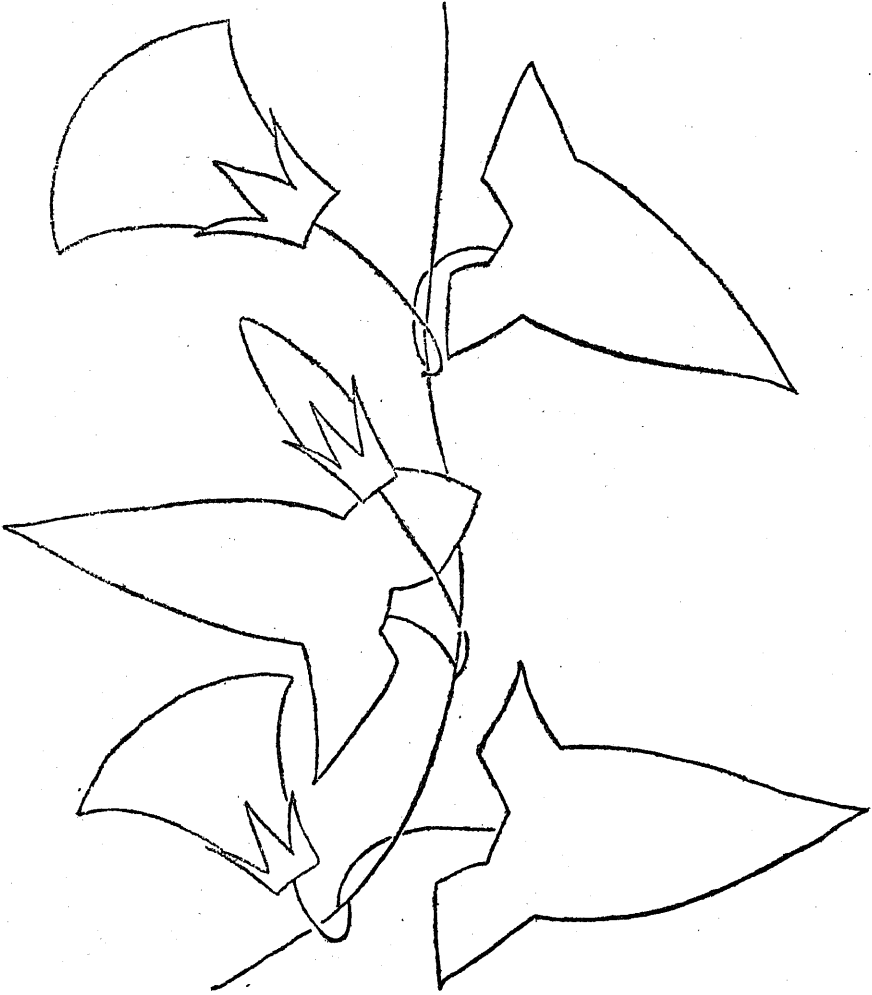
さあ、みんなでお庭の蟻に、ごちさうをやりに行きませう。(粉薬のように包んだ小さい砂糖の紙包をわたし庭に蟻をさがしに行く。)

附記

此頃(五月末)のお天氣のよい日に、羽根のある身體の大きい雌蟻を見つけたら、口の大きい五寸位のガラス瓶又は上下ガラスで、わくを石膏か粘土で作て二室に仕切り、一所だけに二室に通じる固所を作り、観察箱に前の雌蟻と、羽根のない同種の働蟻を入れ、土を入れて、時々食物(砂糖や小蟲)や水分を入れて、土を乾かぬよ

うにして置くと、卵や繭、蟻の成長や養育される状態をよく観察する事が出來ます。

みがりさほがるひ



遊びの二三

及川ふみ

おさつの 茶巾しほり

おさつ 壹貫目 白砂糖一斤 鹽少々

鍋 すり鉢 すりこぎ しやもち お皿

晒木綿

男の人たちは机を片づげるのを手傳つてあとの御馳走をたのしみに積木や繪本で遊ぶことに約束をした。

女兒九人はお菓子づくりで大よろこび、しやばんをつけて手を奇麗に洗つた。

お部屋の花鉢であらひ上げて皮をとつたおさつをお鍋に入れてゆでる。

晒木綿を三寸四方位に切つたのを女兒の數だけ

用意してお湯でよく洗つてしほつておく

よくゆだつたおさつを摺鉢へ入れて大いそぎでかはるがはる摺こぎでつく白砂糖と鹽とを少しづゝ入れて全體によくませる。

小さい晒木綿の切を一つづゝひろげてその中に小さいおさつのかたまりを入れてやる。

下の方を切の外からまるめて上の方を右の方へねぢる。布切だけ上の方から開くと可愛らしい茶巾絞が出来る。始めは力が弱いのかよくしぼれてゐないものも澤山あつたが幼児が數澤山するうちには上手に出来た。まちにまつてゐた男の人たちは小さいお隣の人たちを招いてきて席をこしらへ

た。あるみのお皿に盛られた巾着袋はどんなにみんなをよろこばした事でせう

ひるがほの きりがみ

雑草のひるがほをきりがみにしてみると、なか／＼面白い。

花一二輪が三四枚ついたひる顔のつるを四五本用意しておいて一机に一つづ位にわかる。

(複雑なつるからその一部分丈けとる事は幼児にはむづかしい)

うすも／＼いと緑色の模造紙少しづゝ

實物の花を見ながら別圖の様に花は簡單にらつ

ば形に二つきり書を一つ。

緑の紙で葉を三枚切る。

クレンヨンで蔓と花と葉の柄をかいとおく。

適當に花と葉を糊ではりつける。

シヤボン玉

松脂を乳鉢に入れてごく細かになるまで摺りつ

ぶして苛性ソーダの溶液と一緒に弱い火でなるべく長く煮る。この樹脂石鹼の溶液を適當に水でうすめる。

管に溶液をつけて早くふけば小さい玉が澤山に飛び靜かにふけば大きい玉が出来る。



童話

墓蛙の自慢

水谷年惠

でんでん蟲が枇杷の木の葉にとまつて休んで居ました。枇杷の木の下へ、のそりと墓蛙が出て来ました。でんでん蟲が上から、やさしい聲で、

「墓さん、雨降りにしたいのね。」

と言ひました。墓蛙が太い聲で、

「さうだよ」

と言ひました。

それは、丁度小供達がお三時を食べる時分でありました。でんでん蟲は、まあいおうちをしようつて、枇杷の木の枝から枝へまはつて歩きました

もう夕方になつて来ました。お日様の赤い光が高い木の上の方だけ照してゐました。でんでん蟲はまはりまはつて、さつき休んだ枇杷の葉の上に来ました。そして、

「今夜雨が降ればいいなあ。」

と、ひとり言を言ひました、すると下の方から、

「さうだよ。」

と、さつきの墓蛙が言ひました。でんでん蟲は、

「おや、墓さん、あなたまだ其處にいらつしやるの。」

と、言ひました。

「まだつて、お前俺は體が大きいからな。」

「さうね、あなたは私なんかと違つて、とても大。

さいんですものね。猫位もあるわ。」

慕蛙は、さう言はれると、うんと力を入れて、ふくれて見ました。

「あらあら、慕さん、犬位になつたわ、まあ大きいわねえー。」

慕蛙はもつとくふくれようと、うーんと力を入れて、ふくらんで見ました。

「すてきよ、慕さん、豚位になつたわ。」

慕蛙はもう一息と、體中の力を込めて、ううんとりきみしました。

「ひやあー、牛位もあつてよ。」

と、でんでん蟲が寝め立てました。

丁度其の時、田圃から歸つて來た牛が、慕蛙をのそりと踏み附けました。ふくらんで居た慕蛙は

キュー

と言ひました。



桐の花

さ お り

校門をはいると

おゝ桐の花が

雨に濡れた桐の花が

幾つもく散つてゐる

見上げると

葉の間から薄い紫が見える

いつの間に咲いたであらう

此の木が桐の木である事も知らずに

此の木の下を毎日通つてゐた。

桐の花、桐の花

ゆうべの雨の中を

ひつそりと散つた桐の花

濡れた柔い頬を

大地の肌につけて

ひつそりと散つた桐の花

朝霧につままれて開けた唇

青い月光の中で結んだ夢

そのまゝの姿で散つてゐる。

そつと咲いて

そつと散つた桐の花

曙のほのかなその色

ふくよかなその胸は

泉のほとりに立つ少女のに似て

秘められた永遠の嘆きをかをる。

おゝ散つた桐の花

人影の見えない校庭で

一人しみるく桐の花を見る。

田 植

文 部 雪

♩ = 120



シ ー ロ イ ス ゲ ガ サ ア カ タ ス キ
う ー ゑ る て さ き も あ し ど り も



ソ ー ロ ヒ ス ガ タ ノ サ フ ト メ ガ
ふ ー し も そ ろ へ て さ を と め が



ゆ ー タ フ タ ツ エ ノ ツ タ キ ケ バ
う ー た ふ た う ゑ の ゆ た き げ ば



ツ ウ ロ タ ソ ロ タ ヨ サ フ ト メ ガ ソ ロ タ
こ と し は ほ う ね ん ほ に ほ が ー さ い て



イ ー ネ ノ デ ホ ヨ リ ナ ホ ソ ロ タ
み ー ち の こ ぐ さ も こ め が ー な る

田植

土川五郎振

一、白い……………二回拍手

菅がさ……………兩脇を曲げ肩の高さにあげ前臍を肩の方に倒し笠のふちを持ちてかぶる如くす

あ……………兩手を少し持ち上げて後頭の後方へ恰もたすきを頭にかくる如くす

かだ……………兩手を前に運びて胸前にて兩手を交叉す

き……………にて兩手を左右(半ば左右前方へ)に開き手頸より先きを立てる

そ……………左手を前に出しつゝ左足一步前へ

ろひ……………にて右手先にて左の腕を軽くうつ(打ちたるるとき左手先をあぐ)

すが……………右手を前に出しつゝ右足一步前に

たの……………左手先にて右腕を軽く打つ(打ちたる時右手先をあぐ)

さをとめ……………右足を引き兩手を左へ肩の高さに流し右肩を下げ右下を見る

が……………左向足を引き兩手を右へ流し左肩を下げて左下を見る。

歌ふ……………左向となり左足一步前に上體を少しく前に傾け左手を前に前臍を軽く立てゝ右足にて床

を打つ

田植の……………右足一步前右手を前と同じく上げて左足にて床を打つ

歌きけば……………初め左足次に右足を出し前の通り繰返へす

揃うた……………全生連手し右足を右へ左足を其後に兩膝をやゝ屈して右上を見る

揃たよ……………左足一步左へ右足を其後に兩膝を少しく屈して左上を見る

早少女が……………「揃うた」と同じ

揃た……………「揃たよ」と同じ

稻の……………右足を一步前に左手は後へ張り右手を前より頭上へ上げ（掌を左に甲を右に向け）膝を

少しくゆるめ顔は半ば前上方に向く

出穂より……………其まゝ左廻りして後方を向き左手をあげ右手を後方に前と同じくす

なほ……………正面に向き直る時左膝を床につけてかがみて兩手を頭上にあぐ

揃た……………あげたる兩手先を柔かに左右に振る、顔は上に向く

二、うゑる……………立ちて左足を左へ（右足と一様に）左腕を曲げて左手先を軽く輪にして左胸につけ

右手を其上に稻のなへを取る如くす

手先も……………左足を右足の前に運び兩膝をかがめ右手を掌を下に向け右下に伸ばして植うる如くす

(右手を先を揃へて伸ばし拇指を掌の方に伏せて)

足取……………右足一步右へ兩膝を伸ばし右手を左胸に稻を取る如くす

も……………左足を右足の前に送り前の如く右手を右下に伸ばし植うる如くす

節も……………右廻りして背面を向き又右手にて稻を取る如くす

揃へて……………左足を右足の前へ送り兩膝を屈し右手を右下に伸ばして植うる如くす

早少女……………右足一步右へ右手にて稻を取る

が……………左足を右足の前に送り右手を伸ばし植うる如くす

歌ふ……………右廻りをして正面に向き更に右足に體重を托し上體を右に傾け右手をあげ左足にて床

を打つ(一番の歌ふ田植の云々と同じことをなす)

田植の歌きけば……………第一の如くして三步右へ行く

今年は……………正面を向き右足を左前に振る時兩手にて拍手一回直ちに左方へ流し左足にて跳ぶ

豊年……………左足を右に振り兩手にて拍手一回右へ渡し右足にて跳ぶ

穂に穂が……………「今年は」と同じ

さいて……………豊年と同じ

路の小草も……………左へ二歩兩手を右より下、下より左、左より上、上より右へと小さく輪を描くこ

と二回最後に兩手は左上に左足に體重を托して右足は一步右へ伸ばす

米がなる……………顔を右下に向け左手は左に立て、右食指を左手先きより右下に流すこと二回

昭和三年五月廿八日作

ちい坊

水島 さゆり

一

ちい坊「姉さん、今日何かあるの。」

姉「えゝあるのよ、今日はね、駒込の伯母様がいらつしやるの。」

ちい坊「ふん、そいでこんなにお座敷を綺麗にするんだね。」

姉「さうよ、駒込の伯母様は綺麗好きだから。」

ちい坊「なあんだ、つまらないや。」

母「まあ綺麗に片附きましたね。」

姉「お母様お馳走の方は出来まして？」

母「えゝ、もう出すばかりになつてゐます。」

ちい坊「僕 アイスクリーム三つ頂戴ね。」

姉「早くいらつしやればいゝわねえ、早く見たいわ。」

母「伯母様はお仕度が念入りだから、なか／＼でせう。」

姉「ほんとにおめかしやさんね。」

ちい坊「だから、おしやれ伯母様つてんだ。」

母「ちい坊、いけませんよ、そんな事言つて、さあつちへ行つて遊んでいらつしやい。」

ちい坊「ハイイだ。」

バタ／＼

女中「お坊ちやま、長靴をお穿きなさいまし。」

ちい坊「いやだあ、雨が降つてないからこれでい

よよ。」

女中「だつて、そんな泥んこの中でお遊びになつちやあ、お靴もおズボンも、だいなしちや御座いませんか。」

ちい坊「いいよ、長靴なんか穿いて泥こねは出来ないうよ。」

女中「お母様に申し上げますよ。」

ちい坊「申し上げます。」

プ、プー、プー。

女中「そらお越し。」

トンくくくくくく。

姉「あらいやだ、あんな處に隠れたりして、ちい坊、お玄關でお迎へするのですよ。」

母「伯母様をおどかしたりしちやあ、いけませんよ。」

サクくくくくく。

ちい坊「やつ。」

伯母「まあ、びつくりした。」

女中「あらつ、お坊ちやま、泥んこのお手で。」

姉「大變、伯母様のお召物に、ベツタリ着いたわ。」

伯母「あ、あー。」

母「どうしたらいいだらうねえ。」

二

母「お歸り遊ばせ。」

父「いや、どつこいしよ。」

母「お疲れでいらつしやいませよ、今日はおビールを冷して置きましたから、お召更が濟みましたら、召上つて頂きませう。」

父「そりやあ有難い、早速一杯貫はう。」

母「トクや、あのおビールの用意をしておくれ。」

女中「かしこまりました。」

ちい坊「やあ此のビール壇は冷つこいね。」

女中「いけません、あつちへ行つてお遊びなさいまし。」

ちい坊「いいよ、お父さんはまだ洋服を脱いだばかりだよ。」

母「トクや、お水とお手拭をお座敷の縁まで持つて来ておくれ。」

女中「はい。」

父「あゝせい〜した。どれ冷いのを一杯やらうか。」

ドシン〜〜〜。

父「ちい坊はどうした。」

母「今しがた庭で遊んで居りましたが。」

ドク〜〜〜。

母「おや。」

父「なあんだこれあ、あ、これ、醤油が出たぞ。」

母「まあ、おしたちで御座いますね、トクや、トクや。」

女中「ハイ、ハイ、ハイ。」

母「お前おしたちなんか差上げて、どうしたんだ

ね。」

女中「ひええ、おしたち、あのおビール壺から、

おしたちが？」

母「これ御覧。」

女中「ほんに、まあ、どうしたと言ふので御座いませうね。」

父「うんこれあちい坊だ。」

母「でも、あんまりひどう御座いますから。」

父「いや、あいつだよ。」

母「ちい坊、ちい坊、ちい坊は居ませんか。」

姉「今門の外へ駈出して行きましたよ。」

母「何て、いたづらでせうねえ。」

三

母「ほんとに叱驚なさいましたでせう。さう言ふいたづら振りで御座いましたね。ほんとに困つてしまいました。あなたは子供の教育に経験を積んでいらつしやるから、何とか考へて頂きた

いものですね。」

園長「さう神経に病まない方が、よう御座ひますよ。」

母「私はもう、あの子のいたづらが氣に掛つて、いつそどちら様かへ頂かつて頂かうかと思ふ事もありますが、どんなもので御座いませうね。」

園長「それはいけません。それは少々間違つて居りは致しませんか、我が兒は我手で育てないと罰があたるさうですよ。」

ちい坊「ヨーイ、デツカンシヨ。」

園長「ちい坊さん、こんにちは。」

ちい坊「こんちは。」

園長「あそびませう。」

ちい坊「うん、あすばう。」

園長「芝生でボール投しませう。」

ちい坊「フットボールがいいや。」

園長「よし來た。」

ポーン~~~~

ポーン~~~~

ポーン~~~~

園長「此のボールは大きいのね。」

ちい坊「大きかないよ、こんな小さいのは僕嫌ひだ。」

園長「これが小さいんですつて、へえ、ぢやあ、

ちい坊さんどれ位のがいゝの。」

ちい坊「僕ねえ、大きい、大きい地球位のがいいの。」

園長「ええつ、地球位の、ええー、そんな大きなボール何處で買ふの。」

ちい坊「賣つてなんか居ないよ、僕工夫して作るんだよ。」

園長「工夫して作る？ いやえらいわねえ。」

四

ちい坊「ヒヨヒヨヒヨコ、小サナヒヨコ。」

園長「ヒヨヒヨヒヨコ、可愛イヒヨコ。」

ちい坊「知つてるの。」

園長「知つてますとも。ちい坊さんヒヨッコのお

嘶は御存じ？」

ちい坊「知らない。話してよ。」

園長「ヒヨッコがね、お母さんの雞に連れられて

一羽、二羽、三羽、四羽、五羽、六羽、六羽雞

小屋から表へ出ました。ヒヨッコの一羽がね、

『オンモは廣い。オンモは廣い。』つて駈けまし

た。すると、お母さんの雞がね、『駈けるところ

ぶよ、静にお歩き。』と言ひました。一羽のヒヨ

ッコは、お母さんの脊中の上に乗つてね、『高い

〜』と言つて喜びました。一羽はこぼれてゐ

る御飯粒を見附けて、『おいちい〜』つて食べ

ました。一羽は、

ポツチャンオ出デ、

ジヨツチャンモ來ナ、

可愛イヒヨコト遊ビマシヨ。

と歌ひました。他の一羽は、小さい羽をひろげ

て、帆掛船、帆掛船と言つてはしやぎました。

あとの一羽は、タララ、チララと自分で拍子をとつてダンスをして浮かれました。丁度其の時

野良猫が、六羽のヒヨッコをとつて食はうと、

のそのそ近寄つて來ました。

お母さんの雞が吃驚仰天、コケッコと叫び

聲をたてました。可哀想に、六羽のヒヨッコは

もうすぐ野良猫に食はれてしまひます。

と其處へ、ポチがひよつくり出て來て、ウオー

とうなつて、野良猫をにらみつけました。野良

猫はこれは大變と思つて、こそ〜逃げて行つ

てしまひました。雞のお母さんと六羽のヒヨッ

コは、大喜び、萬歳、萬歳と言つて跳ねました。

ポチも、萬歳、萬歳と言つて喜びました。それ

でおしまひ。」

ちい坊「ね、僕がね、お母さんとね、町へ買物に行つたの、そしたらね、泥棒が出て來たの、そしてね、泥棒がね、お母さんと僕をつかまへようとしたの、さうするとね、お巡りさんが來たの、そしてね、コラッ、つて言つたの、するとね泥棒が逃げてつたの。僕とお母さんとね、萬歳萬歳つて言つたの。」

園長「面白いねえ、うまいねえ。ちい坊さんは奇想天外より落つですな。」

ちい坊「どうしたの、わかんないよ。」

園長「かう言ふヒョッコを他へ預けようなんて、さあお母さんの所へ行きますせう。」



東京市保育會總會

五月二十五日午後二時半から、番町小學校附屬幼稚園に於て開かれた、藤井教育局長お差支の爲田中學務課長出席せられ會員は殆ど全部出席、殊に本年新設の日本橋濱町小學校附屬幼稚園と本郷第三幼稚園の新會員を迎へ、若葉の午後にふさわしい會合であつた。

順序を略記すれば、齊藤幹事長の開會の辭に次ぎ前年度事業報告、會計報告があつて、任期満期による役員改選と規則の一部改正の二件に就きての議事を終へ、次に前幹事小川、服部兩校長に對する謝辭があり續いて田中課長の現今の幼稚園教育者即ち保姆の心組に就き又幼稚園教育の進歩に就いての適接なるお話があつた。まことに社會のあらゆる方面に種々な潮流がそれ／＼の勢で流れ

まわつてゐる。私共はそれを意識して、しかも意識的でない、自ら信じる道を確と踏みしめて歩かねばならぬ。

講演として東京女子高等師範教授の成田順子先生の、外國の子供の生活に就てのお話があつた。筆記を左に掲げます。(文責記者)

講演筆記

私は裁縫と家事とが専門で御座いまして、あちら(歐米諸國)に二年間居りました。家事は範圍が非常に廣う御座いますので難題と思ひまして、主として裁縫を致して居りました。所が外國に行つて裁縫を一年半研究致しましたが大體の事しか分りません。まして他の點に就きましては外から見ました事に過ぎません。しかし女の目に映じた他

國の子供は如何に育てられてゐるかといふことを申上げて見度いと存じます。

先づ何れの方面の事も國により歴史が異り風俗習慣がちがひ感じを異に致して居ります。一口に其の感じを申上げて見ますと、

イギリス……………人格を造る國

フランス……………美術を研究するのに都合がよろ

しい。部屋の感じも濫く高尚落付き、

ドイツ……………學問の國、戦後の疲弊も國民の努

力によりまして恢復致し、地下鐵道に乗りま

しても學理の研究盛なることを偲ばせます。

イタリー。最近ムツソリニー氏が首相となりま

して専制の感がありますが、餘程秩序が立つ

て居ります、汽車の時間も正確であり前にき

いて居た噂とは異つて居ります。ダンシング

ホール等も閉ぢまして、勞働後學校(夜學)を

たてて青年の男女に教育を致して居ります。

アメリカ。天産物豊富、男の方には少し氣の毒

な感じが致しますが女が男をよく使つて居

ります。(例)低能兒教育を研究してゐる女の

方はもと小學校の教員ですが、低能兒童は醫

者、心理學者にのみ任せておくべきでない。

吾々が研究して教育しなければならぬと云

つて、男の醫者二人、男の心理學者四、五人

も使つてやつてゐます。圖書館でもよく女が

研究して居り、親切に専門的な問にもよく解

釋してくれます。其の人々の氣持が自分たち

がしなければならぬといふ信念を持ち、興

味を持つて居ります。どんな用事でも直ちに

始末をし紹介をしてくれます。事務的に早く

仕事運びます。國が大きいだけに富も大で

あります。ある婦人はクリスマスプレゼント

に小學校の兒童に公園の如く廣い土地を與へ

たといふことであります。

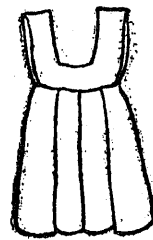
小さい子供に就いて、

イギリス。落付いてゐて、昔から歴史のある國といふ感じがあります。服装は至つて粗末で、親子で歩きますとあれでも親と子かしらと思はれます程子供のは粗末であります。この點は日本とは反對でございますが、あちらは子供服を教へる所は極く少うございます。師範學校の教材も大人の下着と子供服とで一學期間婦人服は、二學期間といふ様に婦人服が主になつて研究されて居ります。デパートでも日本のは子供服が多くありまして、婦人服は極少で御座います。あちらは婦人服が大部を占め子供服は極少でございます。子供は學校の注文の服(校服)を着てゐます。パーターの絹の服がデパートに少しありましたが其等は非常に高價に見受けました。子供を連れて買ひに行く人は少うございます。

イギリスの女兒の服(學生服) (實物揭示)

ブローズ………カクシが一個あります

上着

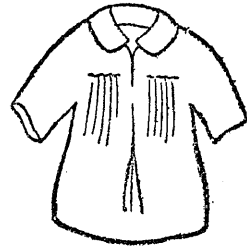


約九圓

ブレードーコート(Blouse)の如き型で上に着ます。夏でも袖の長いのを着ます。イギリスは氣候が日本より低く。80は稀であります。冬は其の割に寒くありませんから子供服は下を取換へるだけであります。ロンドンでは男兒は半ズボン用ひてゐますが、アメリカの西海岸は長ズボンをはいて居るのが多く、東海岸に比べましてあまり品よくは感じません。

幼稚園の子供。

ブルマース

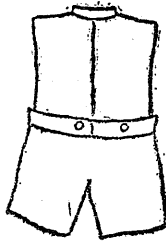


(實物揭示)

極簡單 約一圓

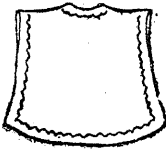
男兒 生地はよいものを用ひません

(實物揭示)



上チユーニツク

(四、五才用)



ゆるやかに作ります

未だよく歩けない子供は乳母車にのせて公園に連れてゆき遊ばせます。犬が大變に好きであちらではよく犬と子供を連れて歩きます。犬はくたびれますとすぐだいてやります。漸く歩く位の子供は皮紐で胴をしばりましてあとから引つばつてやります。食事の時も椅子にしばらくつけてやります。ミルクなど飲ませる時でも抱かずにしばつて腰をかけさせます。危険の伴ひます時分はをりの中に入れて遊ばせます。イギリスでは低い家庭の母は酒場に入ります。女のみは子供は外で待つて居ます。かういふ事のない日本の子供は幸福であります。子供を夜は外へ連れて出ません。子供の芝居は特別にクリスマスの時分にピーターパンのやうな名あるものを致します。大人が招かれまして子供を連れて行く事は極少うでございます

ですから子供に外出着は殆んどいりませんよ。衣着物は必要ないのであります。

子供はクリスマス、誕生日等に親しい友を呼んで茶の會を致します。三時から五時頃までで大人が子供の爲に犠牲になることも無ければ、子供が大人の爲に犠牲になることも殆んどありません。

食事。食事は時間をきめて致します。晩の食事は十二、三才になりますまでは食べさせません。食べ物が少い様ですが、午後四時か四時半のお茶の時に子供にはサンドキツチ、カステーラの如きものを餘計食べさせます。そして寝る時にミルクを與へます。寄宿舎生も大抵其の様にし、晩の食事はありません。時々家に歸つて父母と會食するのが最も楽しみだと申して居る子供がございました。日本の子供は食事が多くはありますまいか。

躰、寢臺も始めは極小さく漸次大きくなります。少し好い家庭ではナースをおいてあります。これは子守と看護婦を兼ねてゐる様な女でありまして或學校を出て居ります。朝の洗顔、口すゝぎ等凡て時間通にさせます。間に欲する物がありません。他の遊びでよく取扱ひます。就學前の子供は午前と午後と二度公園等へ散歩させます。歩けない子供は乳母車で行きます。ナースは教育的の考がありまして、悪いことは決してさせません。そして子供はよくナースの云ふ事を聞きます。子供に對しては絶對の權力を與へられてゐます。ナースが思ふ様に躰てゆきます。目上の人々には禮儀正しくさせる習慣をつけ目上から何か云はれますとはつきり答へずぐ致しません。一週に一度宛ナースのお休があります。其の時の母の躰がナースと異ひますときはナースは主婦に對し

ても小言を申します。大人の買物には子供は連れて行きませせん。

日本は大人のために子供が犠牲になつてゐる點が多い様であります。日本の如く子供の躰け方、目上に對する禮、公衆に對する禮を知らないで育つ子供は大きくなつて如何なるでありませう日本の女中は主人の爲に子供を保護してゐますが折角幼稚園でよき躰を致しましても女中が附添つてゐるために、保育の害になる様な事がありはしないでせうか。イタリーのムツソリニーの夫人は子供を教育するためにはローマの市はよくないと思ひ、社交界に立つ位置にあり乍ら、生地の下ビヤ村で教育して居ります。上の令嬢（當時十四才）は往復二里餘の學校へ通はしてゐるといふことです。日本の婦人はなか／＼子供を考へませせん。社交界には進んで出入して居りながら。

玩具。實物多數提示。

マジックペーパー。下繪があつて水をつけると色が出てくる、落付をするためによりしい十才位の子供が使用してゐます。オーストラリヤの製作。

ヨダレカケノカザリ

ブツク。人形の折りだ／＼み。

イギリス。鐵の棒を組立てる複雑な機械を作ります、二、三圓位から二十圓位までのものがあります。實際に用ひて組立てるものが多うございます。

破れたものを組立てゝもとの型になす遊び。イギリスの玩具は本國で作つたものは少うございます。ドイツ、アメリカの製品が多く、ドイツのは安價、アメリカのは高價ですが、教育的であらうとの自信を持つて居ります。

定規文注

告 稟

- 一、幼稚園及び小學校、家庭、育児、看護等に關する論說調査研究等の寄稿を歓迎いたします。
- 一、寄稿は一行二十六字詰に記して下さい。但改行は一字下げること。また句讀點は一字あけること。
- 一、寄稿並に本誌の編輯に關する通信、紹介及び寄贈の新聞書、交換雜誌、入會手續、更に本誌の購讀及び廣告に關する通信並に照會等一切左記編輯兼發行所宛に願ひます。

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

日本幼稚園協會

- 一、本誌購讀御希望の方は日本幼稚園協會に御加入下さい居所、氏名を明記し會費前金にて東京女子高等師範學校附屬幼稚園内日本幼稚園協會に御申込下さい。
- 一、日本幼稚園協會會員外にて本誌御注文の方は凡て前金(郵税共)で願ひます。(郵券代用の場合には總て一割増)
- 一、御送金の場合なるべく振替貯金にて振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
- 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきて御申越を願ひます。
- 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に『前金切』の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。
- 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

價 定

一ヶ月分一冊	金參拾五錢	送料貳錢
半ヶ年分六冊	金貳圓拾錢	送料 共
一ヶ年拾貳冊	金四圓貳拾錢	送料 共

(外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい)

昭和三年六月十日印刷

昭和三年六月十五日發行

幼兒の教育 第二十八卷第六號

不許複製 禁止轉載

編輯兼發行所 堀 七 藏
東京府豊多摩郡戸塚町大字戸塚五七五

印刷者 小長谷 勝之助
東京市牛込區西五軒町五二番地

印刷所 行政學會印刷所

發行所 日本幼稚園協會

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
振替口座東京一七二六六番

告 廣

特等面一頁 金參拾圓	二等面一頁 金貳拾圓
一等面一頁 金貳拾五圓	一頁以下御斷

神田區南甲賀町八品田與松に御申込下さい

觀察繪本キンダーブック

第四編 養蠶啓略の巻

六月中旬出来

定價五十錢

贊助員 (いろは順)

東京女子高等師範學校教授 堀 七藏	東京女子高等師範學校附屬幼稚園主任 及川 ふみ	東京女子高等師範學校附屬幼稚園主任 目白幼稚園園長 和田 實	日本女子大學教授 河野清丸	同 附屬小學校主任 瑞穂幼稚園園長 土川五郎	東京女子高等師範學校教授 倉橋惣三	東京女子高等師範學校教授 藤 五代策	東京市社會指導 朝尾清記	托兒所 岸邊福雄	東洋幼稚園園長 森川正雄	奈良女子高等師範學校附屬幼稚園主任 校附屬幼稚園主任
-------------------	-------------------------	--------------------------------	---------------	------------------------	-------------------	--------------------	--------------	----------	--------------	----------------------------

第四編のお蠶の巻の目次

1	表 ちいさこべのすがら
2	蠶、繭、蛾、桑の種類
3	家庭の養蠶
4	産卵紙並に其貯藏
5	桑のつみ
6	蠶の一代記
7	養蠶室、掃立
8	宮中の御養蠶
9	絹の製品(アバウト)
10	製糸工場(練糸)
11	織物工場(撚糸)
12	上杉鷹山の養蠶
13	支那の野蠶
14	蠶、桑の病害
15	生糸の輸出
16	世界産類の比較
17	蛹、屑糸の利用
18	昔の糸取り(裏表紙)
19	孟母の断機(裏面圖)

絹は吾國産の第一位を占め、私共も亦日々之と離るゝことはありません。今や此の養蠶の好期に際し、此の觀察繪本と對照して、實地に之を觀察せしめますならば、其の興味と實益とは多大なものであります。該繪本は、理科的方面は素より、歴史的、地理的、傳説的各方面に亘り、最も優れたる印刷の技術を以て、而も藝術的に之を表現しました幼稚園讀本であります。

幸ひ各御園の御後援によりまして、各編毎に總てが伸び行くことを厚く感謝致しまして、

發行所

株式會社

フレール

東京小石川區指ヶ谷町

電話小石川區三ノ木
振替東京二六四〇番印

